

relx™ wind

リラックス ウィンド

取扱説明書 / 保証書



使用電池

単3形乾電池 ×3本

ボタン電池 (CR2032) ×1個

UN R129 適合チャイルドシート

【後ろ向きモード】

適応身長 40cm ~ 105cm まで
適応体重 2.5kg ~ 18.5kg まで
目安年齢 4 歳頃まで

【前向きモード】

適応月齢 生後 15 カ月を超えたら使用可能 ~ 4 歳頃まで
適応身長 76cm ~ 105cm まで
適応体重 18.5kg まで



重 要 ！

本取扱説明書は、必要なときにいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

本取扱説明書を熟読して、内容を理解した上で本製品をご使用ください。



必ずお読みください

本製品は、自動車の座席の ISOFIX 固定装置に固定して使用するチャイルドシートです。本製品は、最新の安全基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品を使用するため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分に理解した上で本製品を使用してください。

本取扱説明書は、大切に保管して必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

もくじ

はじめにお読みください	4	キャノピー	45
ユーザー登録のお願い	4	取り付け、取り外し	45
チャイルドシートについて	5	シェルの回転	47
本製品の重要な情報	6	回転ロック機構	47
適合車種一覧	6	回転のしかた	48
表記の説明	7	電動ファン	50
本取扱説明書で使用するイラストについて	7	自動車の座席への取り付けかた	51
その他の表記について	7	取り付けかた	51
最初にご確認ください	8	ISOFIX 固定装置 (ロアアンカー) に取り付ける	51
内容物の確認	8	アクセサリソケット (シガーソケット) に接続する	57
各部の名称	9	取り外しかた	59
自動車に関わる各部の名称	11	お子さまの乗せかた	62
シェルの向きと使用条件	12	準備	62
後ろ向き、前向きの使用条件	12	お子さまの乗せ降ろし	63
使用可能なお子さまの範囲	13	コントロールパネル	70
インファントインサートの使用	14	各ボタンの動作	70
自動車の座席への取り付けに関して	14	リモートコントローラー	72
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	14	液晶ディスプレイ	73
i-Size	15	お手入れのしかた	74
本製品を取り付けできない座席	15	カバー類の取り外し、取り付け	74
取扱説明書の常時携帯	17	股ベルトパッド	75
使用上の注意	18	インファントインサート	75
緊急時の操作	29	肩ベルトパッド	76
電池をセットする	30	ヘッドサポートカバー	78
単 3 形乾電池	30	シートカバー	79
ボタン電池 (CR2032)	32	お手入れの方法	81
基本的な使いかた	33	カバー類、パッド類	81
バックルの使いかた	33	本体 (シェル、ベース)・リモートコントローラー	82
バックルの外しかた	33	保管のしかた	83
バックルの留めかた	34	廃棄のしかた	83
差込みタンク受け	35	保証書	86
ハーネスの長さ調節	36		
ハーネスの高さ調節	37		
インファントインサート	38		
取り外し、取り付け	38		
インファントインサートの分解	39		
サイドインパクトプロテクションボッド (SIPP)	40		
リクライニング	42		
電動リクライニング	42		
マニュアルリクライニング	44		

はじめにお読みください

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準（UN R129）に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。

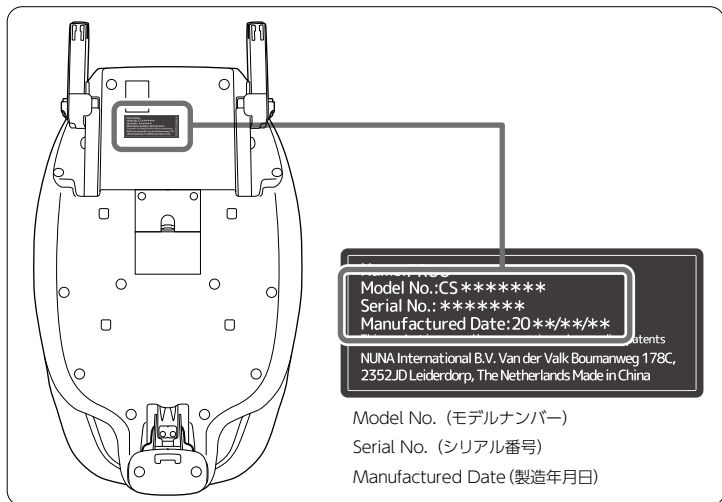
同梱の「ユーザー登録はがき」または、下記の弊社ホームページよりご登録ください。お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

<https://www.katoji.co.jp/childseat.html>



日本国内においては、輸入販売元の株式会社カトージにおいて、ユーザー登録、保証サービス、サポートを行っておりますので、上記 URL からご登録いただくか、同梱のユーザー登録はがきによりご登録をお願いします。

ユーザー登録に必要な情報は、本製品の底面に記載されています。



チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進、急停止、急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまの身体がチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記に従って、常に正しく使用してください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、チャイルドシートを常に正しく使用するとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

本製品の重要な情報

- 1 本製品は、UN Regulation No.129 基準に適合したチャイルドシートです。i-Size 規格に対応しており、i-Size に対応した自動車の座席に取り付けて使用することができます。ただし車種や座席によっては、本製品の装備する機能の使用に制限が生じる場合がありますのであらかじめご了承ください。また自動車の取扱説明書において i-Size 対応との表記がない場合でも、取り付け、使用が可能な場合もありますので「適合車種一覧」をご確認ください。
- 2 本製品は、適合する基準により使用可能なお子さまの範囲が定められています。本製品はシェル部分が回転することにより、自動車の進行方向に対して後ろ向き、前向きに切り替えて使用することができますが、それぞれ使用可能なお子さまの範囲が異なりますのでご注意ください。
 - ・ 本製品を自動車の進行方向に対して後ろ向きにして使用する場合は、身長 40cm から 105cm かつ体重 18.5kg 以下のお子さまにご使用いただけます。
 - ・ 本製品を自動車の進行方向に対して前向きにして使用する場合は、身長 76cm から 105cm かつ体重 18.5kg 以下のお子さまにご使用いただけます。**ただし前向きに固定しての使用は、お子さまの月齢が 15 ヶ月を超えてからに限りです。**身長が 76cm を超えても月齢が 15 ヶ月以下のお子さまは後ろ向きにして使用してください。
- 3 ご不明な点については、チャイルドシートのメーカーまたは保証書欄に記載のお問い合わせ先、お買い求めになった販売店にお問い合わせください。

適合車種一覧

以下のホームページに掲載の適合車種一覧において、本製品を取り付けて使用できる車両の情報が記載されています。

<https://katoji.co.jp/user-carseat/index.html>



表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意、ご留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しております。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品を使用されるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上で使用してください。

 **危険** この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

 **警告** この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

 **注意** この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。



警告や注意を促す事柄を示しています。



禁止事項を示します。



この表示に付随して記載されている事柄は正しい状態にあることを示します。



この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあることを示します。

本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張などをおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

その他の表記について

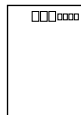


「ポイント」と表記された枠に記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいただきたいこと、また、本製品をより便利にご使用いただくための大切な情報です。

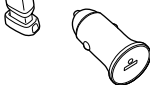
内容物の確認

Diagram illustrating the components of the car seat:

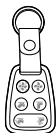
- キャノピー (Canopy)
- インファントインサート (Infant Insert)
- ISOFIX ガイド× 2 (2 Isofix Guides)
- 本体 (Main Body)
- サイドインパクトプロテクションボッド (SIPP) (Side Impact Protection Board)



ユーザー登録ハガキ



専用 USB-C カーチャージャー



リモートコントローラー



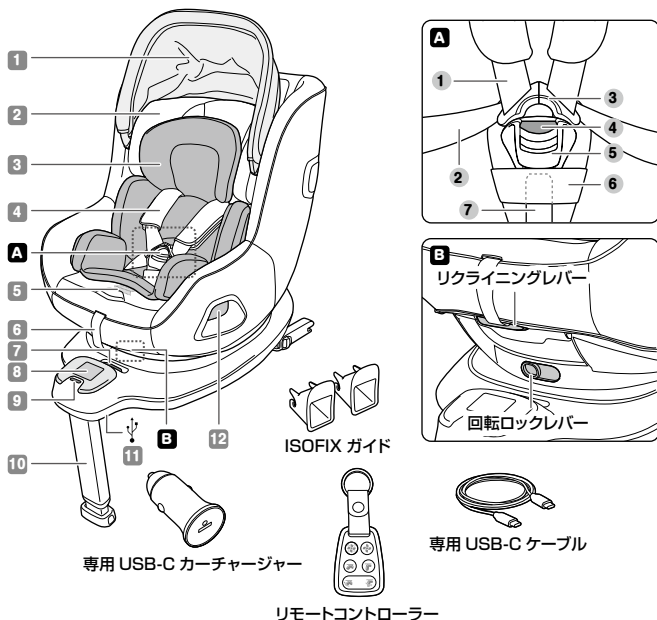
専用 USB-C ケーブル



単 3 形乾電池× 3 (テスト用)

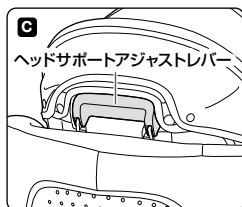
警告 本製品が入っていたビニール袋などの梱包材は、本製品開梱後、直ちにお子さまの手の届かない場所に廃棄してください。

各部の名称

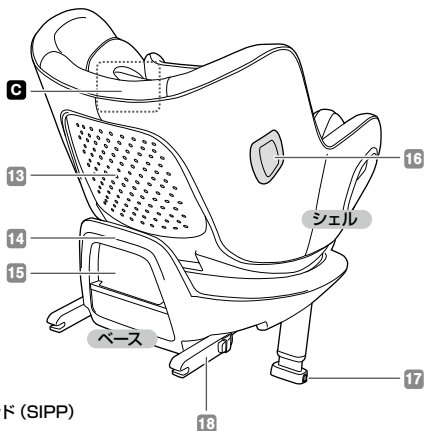


- 1 キャンピー
- 2 ヘッドサポート
- 3 インファントインサート
- 4 肩ベルトパッド
- 5 ベルトアジャスター
- 6 アジャストベルト
- 7 ISOFIX アジャストボタン
- 8 コントロールパネル／液晶モニター
- 9 サポートレッグインジケーター
- 10 サポートレッグ
- 11 USB ポート
- 12 回転レバー

- A** ハーネス／バックル
- ※肩ベルトと腰ベルトをあわせて「ハーネス」と表記している場合があります。
- 1 肩ベルト（ハーネス）
 - 2 腰ベルト（ハーネス）
 - 3 差込みタンク
 - 4 バックルボタン
 - 5 受けバックル
 - 6 股ベルトパッド
 - 7 股ベルト



サイドインパクトプロテクションボード (SIPP)



13 通気口

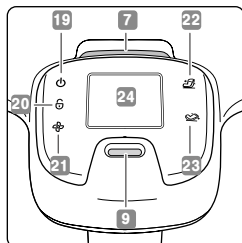
14 リバウンドバー

15 取扱説明書ホルダー

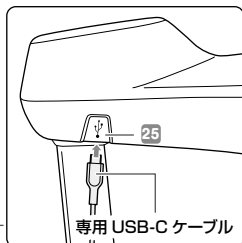
16 SIPP スロット

17 サポートレッグアジャストボタン

18 ISOFIX コネクター



コントロールパネル/液晶モニター



19 電源スイッチ

20 ロック/アンロックボタン

21 ファンスイッチ

22 リクライニングスイッチ (UP)

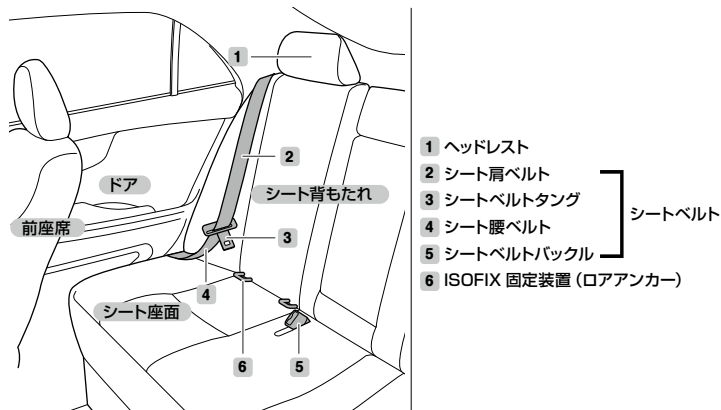
23 リクライニングスイッチ (DOWN)

24 液晶モニター

25 USB-C 入力ポート (DC12V/2.5A)

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書においては以下の通りの名称を用います。



ポイント

自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて上図を参照し、自動車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

シェルの向きと使用条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシート基準のUN Regulation No.129(UN R129)によって定められており、身長40cm(体重2.5kg以上の新生児※)以上から、身長105cmかつ体重18.5kg以下のお子さまにご使用いただけます。

本製品は、シェルが前後に回転することにより自動車の進行方向に対して後ろ向き、または前向きにして使用することができますが、後ろ向きモードと前向きモードでは使用できるお子さまの範囲が異なります。本製品の適合する基準により、それぞれの使用可能範囲が定められています。

後ろ向き、前向きの使用条件

お子さまが生後15ヵ月かつ身長76cmを超えるまでは、必ずシェルを自動車の進行方向に対して後ろ向き（後ろ向きモード）にして使用してください。

本製品は後ろ向きモードでも、前向きモードでも、身長105cmまで、かつ体重18.5kgまで使用することができます。

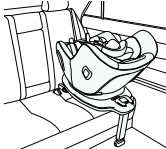
この範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

本製品は、体重2.5kg以上の新生児※からご使用いただけます。

※ここでの新生児とは、体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上で出生したお子さまを指します。

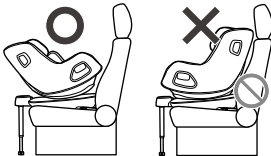
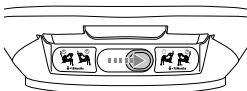
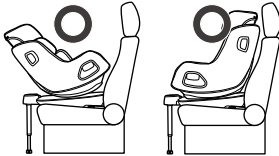
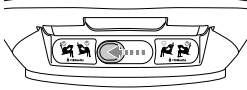
⚠危険 使用可能なお子さまの範囲に満たない、または超えての使用は、思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず「使用可能なお子さまの範囲」を遵守してください。

使用可能なお子さまの範囲

お子さまの身長と体重	シェルの向き	お子さまの月齢(年齢) ^{※1}	リクライニング	インファントインサート
40cm ~ 105cm 18.5kg 以下	後ろ向きモード 	2.5 ヶ月 ~ 4 歳頃まで		身長 60cm 未満かつ体重 13kg 以下のお子さまはインファントインサートを使用してください。インファントインサートはお子さまが窮屈な状態になるまで使用することができます。
76cm ~ 105cm 18.5kg 以下	前向きモード 	15 ヶ月 ^{※2} ~ 4 歳頃まで	1 ~ 5	前向きモードでの使用時、インファントインサートは使用できません。インファントインサートを取り外してください。

※1 年齢は参考です。身長と体重によってお子さまの使用可能な範囲が定められています。

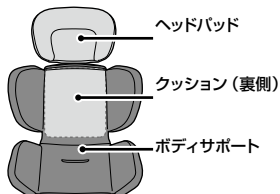
※2 生後15 ヶ月を超えるまでは後ろ向きモードでのみ使用可能。

お子さまの月齢	シェルの向き	回転ロックレバーの状態
15 ヶ月未満	後ろ向きモードのみ使用可能 	
15 ヶ月を超えてから	後ろ向きモードまたは前向きモードで使用可能 	

インファントインサートの使用

インファントインサートは、後ろ向きモードでのみ取り付けます。

前向きモードではインファントインサートは使用できませんので取り外してください。インファントインサートの使用により側面からの衝撃を緩和する効果が期待できますので、身長が 60cm 未満かつ体重が 13kg 以下のお子さまには取り付け使用してください。本製品を後ろ向きモードで使用している間は、お子さまの成長、着衣により窮屈になるまでインファントインサートを使用することができます。お子さまの姿勢が窮屈になった場合は取り外してください。



インファントインサートは3つの部位で構成されています。すべてを組み立てた状態で使用してください。各部を取り外してお手入れすることができますが、お手入れが済んだら組み立て直してご使用ください。

警告 インファントインサートはすべてを組み立てた状態で使用してください。ヘッドパッド、クッション、ボディサポート単体で、またはその一部のみ組み立て、組み合わせた状態では使用しないでください。

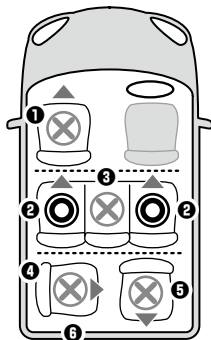
自動車の座席への取り付けに関して

取り付け、使用可能な座席の位置と向き

- ① 助手席・・・使用できません
- ② 後列左右ドア側席・・・**使用できます**
- ③ 後列中央席・・・原則使用できません*
- ④ 進行方向横向きの座席・・・使用できません
- ⑤ 進行方向後ろ向きの座席・・・使用できません
- ⑥ 3列目以降の座席・・・原則使用できません*

* i-Size に応じるISOFIX 固定装置を装備した座席では取付可能な場合があります。当社の適合車種一覧では、中央席は調査いたしておりませんので、お車の取扱説明書をご確認ください。

* 3列目以降の座席に関しては調査しておりません。i-Size に応じるISOFIX 固定装置を装備した座席では取付可能な場合があります。お車の取扱説明書をご確認ください。





自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）のチャイルドシートの取り扱いに関する記載を併せてご確認ください。



図で示した座席（シート）すべてに取り付けおよび使用可能とは限りません。

前図は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きにあって、かつその他の条件を満たした座席にのみ取り付けが可能です。

i-Size

本製品は i-Size 規格に対応しており、当社が特に指定しない限り、自動車の取扱説明書で i-Size 対応と明記された座席に取付可能ですが、諸条件により、使用できない、または機能が制限される場合があります。

本製品を取り付けできない座席

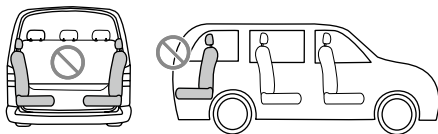
本製品は、全ての自動車、全ての座席（シート）で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。



以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、本製品を前向きにして、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付け使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席や、バス、電車、航空機、船などの座席では使用できません。



フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、エアバッグが展開する際の急激な衝撃力によって、チャイルドシートが押し出され、お子さまが死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。万が一の事態に備え、機能解除ができる座席でも、フロントエアバッグを装備した座席での使用はお控えください。

また、自動車の取扱説明書をあわせて参照して、エアバッグの取り扱いに関してご確認ください。



助手席

本製品は、自動車の取扱説明書で「i-Size 対応」と指定された座席には原則取り付け可能ですが、安全性と運転への支障を避けるため、i-Size 対応の有無にかかわらず、助手席での使用は推奨せず、より安全な後部座席に取り付けてご使用ください。

**危険**

以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

可動式の座席やドアがチャイルドシートに干渉する座席

ドアの開閉時や座席を移動させた際、ドアや座席がチャイルドシート（樹脂部品など）に干渉する座席で使用すると、チャイルドシートの破損や、自動車の操作への影響、本製品の正しい使用状態の維持に影響をおよぼすおそれがあります。

チャイルドシートを安定して設置できない座席

レーシングバケットシートや極端に狭い座席、ドアやコンソールと接触する座席など、チャイルドシートが不安定になる座席には取り付けられず、また、適合車種であっても特殊な座席（限定モデルや座席が交換されている場合など）では安定しない場合があるため、取り付け作業中に少しでも不安を感じた場合はその座席では使用しないでください。

**ISOFIX 固定装置（ロアアンカー）が装備されていない座席**

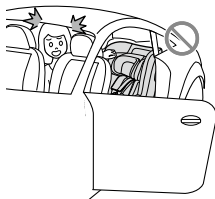
本製品は ISOFIX 固定装置（ロアアンカー）が装備された座席でのみ使用可能であり、ISOFIX 非装備座席や、使用可能なチャイルドシートの機種名が自動車の取扱説明書で厳密に指定されている ISOFIX 固定装置付き座席（スペシフィックヴィークル）では使用できません。

チャイルドシートを使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

チャイルドシートを使用すると、ドアミラーが見えにくくなったり、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与えて自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。

乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアの座席など、チャイルドシートを使用することで緊急時の乗員脱出が困難になるおそれがある座席では使用しないでください。i-Size 対応座席であっても、他の乗員の脱出が容易とは限りません。実際に使用する前に、すべての乗員が容易に乗降・脱出できるか、お子さまを迅速に脱出させられるかを必ず事前に確認してください。

**パッシブシートベルトが装備された座席**

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。

適合性を確認すること

本製品は、推奨される設置位置であっても、すべての承認された車両、座席に適合するとは限りません。適合車種一覧を必ず確認してください。



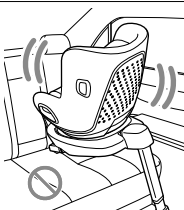


危険

以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

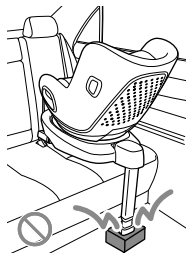
床面に構造物のある座席

本製品は、サポートレッグを自動車の床面に接地させて使用します。このため、床面に収納ボックスなどの構造物がある座席では使用できません。



その他、しっかりと取り付けられない座席や動く座席

取扱説明書に従っても、しっかりと固定できない、安定しない、サポートレッグが接地しない、取り付け作業中や使用中に動く座席など、正常に取り付けて使用できない座席では使用しないでください。



チャイルドシートの角度が異常になる座席

座面が極端に傾斜しているなど、使用時にチャイルドシートの角度が異常になる座席では使用しないでください。

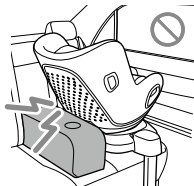


注意

以下に示す座席では使用しないでください。この指示を守らないと、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりするおそれがあります。

固定式の側壁（コンソールなど）が装備されている座席

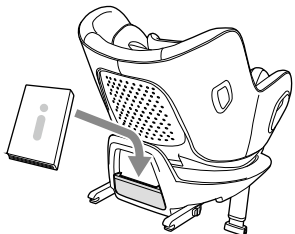
本製品のシェルの回転機構を使用すると、側壁（コンソールなど）が干渉して、自動車や本製品にキズが生じたり、破損したりするおそれがあります。



取扱説明書の常時携行

本取扱説明書は取扱説明書ホルダーに保管し、必要な際にはいつでも参照できるようにしておいてください。

取扱説明書は、本製品を使用しなくなり廃棄するまで常に取扱説明書ホルダーに保管して携行してください。



使用上の注意

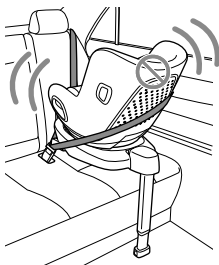
本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の同乗者の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

⚠危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本書および本体の表記に従って正しく自動車の座席に取り付けること
本取扱説明書や本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席に固定し、使用してください。

正しく固定されていないと、衝突や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

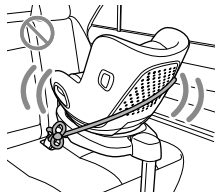
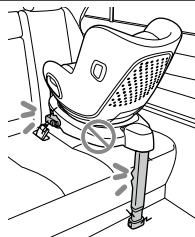


本製品は ISOFIX 固定専用です

本製品は ISOFIX 固定でのみ使用できます。3 点式シートベルトを含むその他のいかなる方法でも固定してはいけません。また、ISOFIX 固定に加えて 3 点式シートベルトで追加固定をしないでください。これにより安全性が増すことはなく、かえって製品の安全性能に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

本製品の取り付けに関わる部位や部品に異常が認められる場合は絶対に使用しないこと

衝突や急制動の際に本製品が外れたり大きく動くなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。ISOFIX コネクターやサポートレッグ、自動車の座席の ISOFIX 固定装置（ロアアンカー）に異常がある場合は取り付けおよび使用をしないでください。



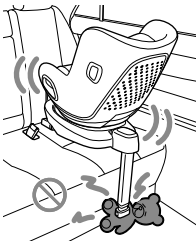
追加しての固定をしないこと

本製品は取扱説明書および本体で指示された方法でのみ自動車の座席に固定して使用し、ひも、ベルト、テープなどの指示外のものを固定や補強に使用すると、正しい固定に影響を与えたり、お子さまの首や身体に引っかかりたりして思わぬ事故につながるおそれがあるため、絶対に使用しないでください。

⚠危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

サポートレッグの先端が確実に床面に接するようにすること

サポートレッグを正しく使用してください。サポートレッグの長さを調節して、先端が自動車の床面に確実に接するようにして使用します。



サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレッグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

指定以外の向きで使用しないこと

本製品はサポートレッグを前にして自動車の座席に固定して、お子さまの身長および体重に応じて、自動車の進行方向に対してシェルを後ろ向き、または前向きのいずれかに固定して使用します。

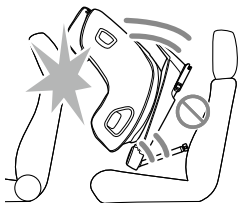


いかなる目的でも注油しないこと

本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどの目的、方法でも、絶対に本製品に注油や潤滑剤を使用してはいけません。

使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

お子さまを乗せていない場合でも、本製品を自動車に乗せる際は、衝突や急制動による思わぬ事故を防ぐため、必ず取扱説明書の指示に従って自動車の座席に正しく固定してください。



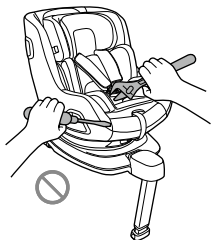
電気回路の改造、分解をしないでください

本製品の電気回路の分解や修理、コードの加工は絶対に行わないでください。発火や思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

チャイルドシートを分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できるように、チャイルドシートの分解、改造、指定外の部品やソフトパッド等の使用は禁止されており、規格に関わる当局の承認なしに本製品に変更や部品の追加を行わないでください。



カバー類や部品を外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるため、取扱説明書で指示がない部品（カバー類、ウレタン、衝撃緩衝材を含む）や安全に関するラベル、シールは、決して取り外して使用しないでください。

EPP／EPS フォーム（衝撃緩衝材）を取り外さないこと

本製品の内部に取り付けられている EPP／EPS フォームは、本製品の安全性に関わる重要な部品です。絶対に取り外さないでください。

指定以外の耐荷重接点を使用しないこと

本製品を取り付け、使用するにあたり、本書および本製品に表記されている耐荷重接点以外を使用しないでください。本製品の取り付け、使用にあたっては、必ず本書および本製品に表記されている指示に従ってください。

本製品は取扱説明書および自動車の取扱説明書の内容を理解した大人の方が操作すること

本製品を誤って使用するとお子さまや他の乗員に危険がおよぶため、お子さまに操作させず、第三者に使用させる際も、本書を必ず参照させて正しく使用するように徹底してください。

ドアや可動座席による挟み込みに注意すること

本製品の金属部品やプラスチック部品が、車の可動座席やドアに挟まれないように設置・配置してください。

指定外のアクセサリを使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシート用とされていても、当社指定外のカバー類、マット類やソフトパッド、クッションなどを本製品に追加して使用しないでください。

使用条件を厳守すること

本製品は適合する基準によって使用できるお子さまの条件が定められています。この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

後ろ向き、前向き、それぞれ使用できるお子さまの条件が定められています。本製品は、それぞれの条件に適合した状態でのみ使用することができます。



⚠危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

ハーネスを正しく調節して常に装着すること

ハーネスは、正しく調節して使用します。ハーネスの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通るように位置を調節して常にバックルを留めておくようにしてください。



お子さまを正しく座らせて使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、お子さまを座らせて使用してください。シートベルトを間違っ使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。

ハーネスや股ベルトにねじれ、ゆるみがないようにして装着すること

ハーネスは、高さや長さを正しく調節してねじれがないことを確認して、しっかりと締め付けて使用します。股ベルトパッド、肩ベルトパッドを取り付けて、すべてのハーネスにねじれがないように装着してください。



ハーネス以外の方法でお子さまの身体を固定しないこと

お子さまの身体固定は、ハーネスによってのみ行うことができます。お子さまの首や身体に引っかかるなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。

また、正しく固定した上に、これらのもので補強してもいけません。



お子さまを自動車内に放置しないこと

チャイルドシートの使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、どれだけ短い時間でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたりシートベルトに絡まるなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

シェルは、後ろ向き、前向きのいずれかの向きで固定して使用すること
本製品は乗せ降ろしや向きの切り替えのためにシェルを回転させることができますが、使用する際は必ず後ろ向きまたは前向きのいずれかの向きで確実に固定しなければなりません。横や斜めに向けた状態では絶対に使用せず、本書の指示に従い正しくご使用ください。



ハーネスが正しく装着されていることを適宜確認すること

ハーネスは常に適切に調節して使用してください。適宜ハーネスの状態を確認し、お子さまの成長や着衣の状況に応じて、適切な状態になっていることを確認してください。

生後 15 ヶ月までは後ろ向きでのみ使用可能

お子さまが生後 15 ヶ月を超えるまでは後ろ向きで使用し、シェルを前向きにして使用しないでください。

体型が合わなくなった場合は使用しないこと

お子さまが使用可能な範囲の条件に適していたとしても、本製品に正しくお子さまを乗せた際に、ハーネスを調節してもお子さまの身体を正しく固定できない場合には、本製品が所定の安全性能を発揮できませんので使用を中止してください。

リモートコントローラー、コントロールパネルを走行中に使用しないこと

運転中のわき見運転を防ぐため、運転中はリモートコントローラーやコントロールパネルの操作を行わないでください。



チャイルドシートを使用すること

多くの自動車事故が、短い距離、短い時間の移動時に発生しています。どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、必ずチャイルドシートを常に正しく使用するとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

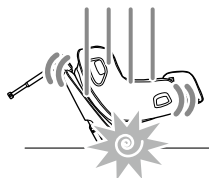
お子さまから目を離さないこと

本製品は、常に保護者の目が届く状態で使用してください。絶対に、お子さまを本製品に乗せたままその場を離れるなどして放置してはいけません。安全に配慮しつつ、お子さまの状態、様子には、常に注意を払ってください。

⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

衝撃を受けた製品の使用中止

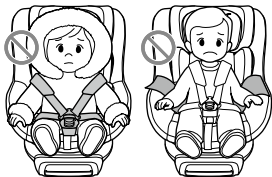
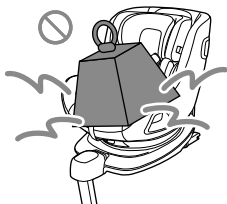
交通事故にあった、落下させた、車のドアで強く挟んだ、など一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用してはいけません。また、本製品の部品が欠落した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。このような場合は、修理ができず、保証の対象外となりますので、新しいチャイルドシートをご購入いただく必要があります。



⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

本製品に過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷して所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、ドアや自動車の座席のリクライニングで強く挟むなどしたりしないでください。また、本製品が損傷した場合は使用を中止してください。



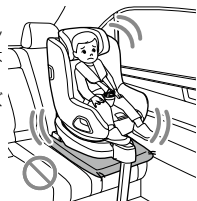
不適切な着衣で使用しないこと

お子さまの脱落や飛び出しを防ぐため、股ベルトを挟めない着衣や滑りやすい敷物の使用は避け、厚着の際はハーネスを確実に調節するか着衣を調整するなど、お子さまの身体が常に正しく固定されるようにしてください。

チャイルドシートの下にクッションや敷物などを敷かないこと

座席の保護のため、チャイルドシートと座席の間に座布団やクッションなどの敷物を敷くと、チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

チャイルドシートを正しく取り付けた際に、自動車の座席にくぼみやキズが生じる可能性があります、あらかじめご了承ください。



走行前には、毎回チャイルドシートの状態を確認すること

他の同乗者やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回チャイルドシートが正しい状態になっていることを確認してください。

走行中は、チャイルドシートを操作しないこと

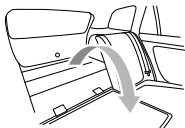
お子さまの状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、お子さまの状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクススペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



本製品を取り付けた後に、自動車の座席のリクライニング操作や座席の移動をした場合には状態を確認すること

これらの操作により、固定の状態が変化する可能性があります。操作をした後には、取り付けの状態を必ず確認してください。

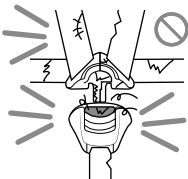
インファントインサートを正しく使用すること

本製品にのインファントインサートは安全基準を満たした部品です。インファントインサートはすべての部位を組み立てた状態で使用してください。指定外のソフトパッドやインサート類をこれに替えて使用したり、追加して使用したり、本製品付属のインファントインサートに加工をしたりしないでください。

中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品や過去の使用履歴や保管状況、使用状況が不明なチャイルドシートは使用しないでください。

見た目では判断できない構造的損傷のある可能性もあります。また、再利用による事故を防ぐため使用しなくなった本製品は、「使用不可・廃棄品」と明示し、再利用ができない状態にして廃棄するようお願いいたします。



バックル、ハーネスに異常がある場合は使用しないこと

本製品の使用中に、お子さまが飛び出したり、落下したりするおそれがあります。本製品のバックル、ハーネスに異常を感じた場合は、使用を中止してください。

目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、チャイルドシートとしてのみ使用することができます。本来の目的以外で使用すると、本製品が落下や転倒をしたり、お子さまが落下したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまの手足を挟まないようにすること

思わぬ事故につながるおそれがありますので、本製品を操作する際に、お子さまの手足に注意し、本製品と自動車の座席との間や本製品の回転機構部などに手や足、指を挟まないよう注意してください。



⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないこと

落下による思わぬ事故を防ぐため、お子さまがハーネスで固定されていても乗せたままチャイルドシートを持ち上げたり持ち運んだりしないでください。また、本体を持つ際は、サポートレッグが突然開いて怪我をしないよう、サポートレッグに手を添えて持ってください。



不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



本製品に破損や異常がある場合や部品が欠落している場合、部品を取り外した状態では使用しないこと

衝突や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあり、また本製品の破損部により思わぬ事故につながるおそれがあります。

ISOFIX コネクターや ISOFIX 固定装置 (ロアアンカー) を清潔に保つこと

ISOFIX コネクターや ISOFIX 固定装置 (ロアアンカー) に、食べかすや汚れ、ほこりが付着していると本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。これらを常に清潔に保つようにして必要に応じて正しくお手入れするようにしてください。

電動ファンを回したまま放置しないこと

本製品には、お子さまを快適にするための電動ファンが内蔵されています。モーターの過熱、発火のおそれがありますので、電動ファンを回したまま放置しないでください。

専用 USB-C カーチャージャーを使用して、自動車の電源ソケット (アクセサリースOCKET) から給電すること

本製品の電動ファンや電動リクライニング機構を稼働させる際は、本製品の故障、過熱、発火を防ぐため、専用 USB-C カーチャージャーを使用して自動車の 12V の電源ソケット (アクセサリースOCKET) から給電し、モバイルバッテリーなど他の方法による給電は絶対に行わないでください。

⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

お子さまの誤飲に注意してください

本製品のリモートコントローラーにはボタン電池 (CR2032) を使用しますので、お子さまが誤飲しないよう取り扱いには十分にご注意ください。

付属の専用品以外は使用しないでください

本製品への給電には、付属の専用 USB-C カーチャージャーと専用 USB-C ケーブルを使用してください。これらの市販品や、USB-C 延長ケーブルは使用しないでください。

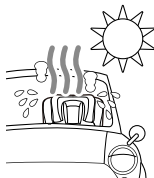
破損した専用 USB-C ケーブルを使用しないでください

感電、ショートするおそれがあります。専用 USB-C ケーブルや専用 USB-C カーチャージャーに異常がある場合は、これらを使用しないでください。なお本製品は、電源に接続しなくてもチャイルドシートとして使用することができます。

⚠注意 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

車内の物品は固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が日光により過度に加熱していないか確認してからお子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、直射日光を避けて日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。

トランク内での保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合は本製品の上に他の物を載せないように注意してください。また、トランク内は高温になりますので長期間にわたるトランク内での本製品の保管は避けてください。

バックルやハーネスを自動車のドアやシートに挟まないよう注意すること

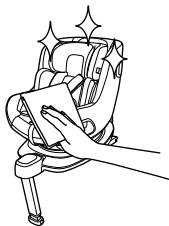
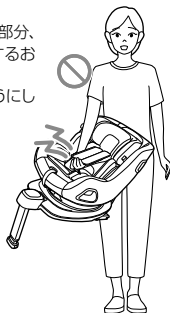
本製品のバックルやハーネスを自動車のドアやシートで挟まないように注意してください。また、バックルにほこりやゴミが付着したり入り込まないように、お子さまを乗せていない場合でもバックルを留めておくようにしてください。

⚠ 注意 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

ハーネスなど、本体以外の部分を持って本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際にハーネスを持ったりインファントインサート、生地部分、キャノピーを持つなどして持ち上げないでください。本製品が破損、落下するおそれがあります。

本製品を持つ場合はサポートレッグを手で支えながらベース部分を持つようにしてください。



適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。

ISOFIX ガイドに汚れが付着していないか適宜確認すること

汚れ、ホコリ、食べかすなどが ISOFIX ガイド内に侵入すると本製品の固定に影響をおよぼすおそれがあります。ISOFIX ガイドは必要に応じて取り外してお手入れしてください。

長期間使用しない場合は電池を抜いておくこと

液漏れのおそれがありますので、長期間使用しない場合はリモートコントローラーのボタン電池、ベースの乾電池を抜いて、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

使用済みの電池は取り外すこと

使用済みのバッテリーは取り外し、端子をショートさせないようにして、お住まいの自治体の指定する方法で正しく廃棄してください。

保護フィルムはお子さまの手の届かない場所に廃棄してください

コントロールパネルのディスプレイ画面を保護している輸送用フィルムは、初回使用前に完全に剥がしてください。剥がしたフィルムはお子さまの手の届かない場所に廃棄してください。

リモートコントローラをお子さまに操作させないでください

本製品の電動機構（リモートコントローラー）は玩具ではありません。大人専用であり、お子さまに使用させることはできません。電動機構は、必ず大人が操作し、お子さまが手足などを挟んで怪我をしないよう、機構の作動中は目を離さないようにしてください。

非充電式バッテリー（電池）の充電禁止

非充電式のバッテリーを充電しようとししないでください。

バッテリー（電池）の混用禁止

異なる種類のバッテリーを混ぜて使用したり、新しいバッテリーと使用済みのバッテリーを組み合わせて使用したりしないでください。

⚠注意 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

極性（±）を確認してバッテリー（電池）を挿入すること
バッテリーを挿入する際は、正しい極性で入れてください。

ご使用前にお使いの自動車の座席に正しく本製品を取り付けられるか、ご確認ください
正しく取り付けできないと、衝突や急制動の際に、本製品が所定の安全性能を発揮することができません。

長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外してください
本製品を長期間使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにせず座席から取り外して車外に出して適切に保管してください。

長時間連続して使用しないこと
お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレスや疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくために適宜お子さまをチャイルドシートから降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。
また、安全運転のためにもなりますので最低でも1時間に1度は連続した休憩をとるようにしてください。

取扱説明書は所定の取扱説明書ホルダーに入れておくこと
いつでも取り扱い方法を確認できるよう、本書は常にベース背面の取扱説明書ホルダーに入れて保管しておいてください。

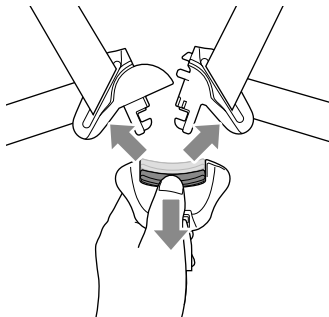
疑問点、ご不明な点は、販売店またはお客様サービスに問い合わせください
お手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合や、部品の交換、補修については、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず本製品のバックルボタンを押し下げてハーネスを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。

そして直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、以下の方法でお子さまを脱出させてください。



バックルボタンが機能しない場合

ISOFIX コネクターを外し本製品ごと取り外す
シートベルトカッターでハーネスを切断する

電池をセットする

電池が製品に同梱されているかどうか確認すること

本製品では、以下の電池を使用します。いずれもテスト用となっておりますので電池の残量が少なくなりましたら、別途お買い求めの上交換してください。

単 3 形乾電池 (アルカリ) × 3 本 コントロールパネル用の電源として
ボタン電池 (CR2032) × 1 個 リモートコントローラー用

なお、電動ファン、電動リクライニング、液晶パネルは使用できませんが、本製品は電池および 12V 給電がない状態でも安全に使用することができます。

ポイント 電池を使用しても、本製品の電動ファン、電動リクライニング機構は使用できません。これらの機構は、自動車の電源ソケットからベースの USB ポートに給電することにより使用することができます。

危険 電池を飲み込むと危険です。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

電池ボックス、電池ケースに表示されているプラス (+) とマイナス (-) の向きを確認し、極性を正しく合わせて入れてください。極性を間違えると、故障や発熱、液漏れの原因となります。

注意 記載されている種類の電池 (単 3 形アルカリ乾電池および CR2032) を必ず使用してください。

アルカリ乾電池とマンガン乾電池、または新品の電池と使いかけの電池など、種類の異なる電池や新旧の電池を混ぜて使用しないでください。異なる種類・状態の電池を混ぜると、液漏れや破裂の原因となる場合があります。

使用済みの電池は、お住まいの自治体の定めに従い正しく廃棄してください。

単 3 形乾電池

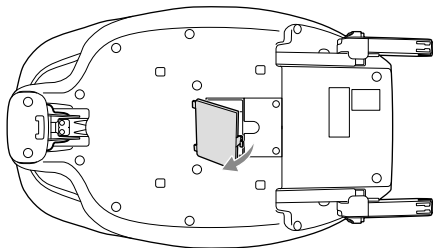
単 3 形乾電池 (3 本) は、本製品ベース底面の電池ボックスにセットします。本製品を横向けにするなどして蓋を開け、セットしてください。

電池交換も同じ手順で行います。

注意 本製品は重量がありますので、横向けにした際には、倒れたりしないように注意してください。

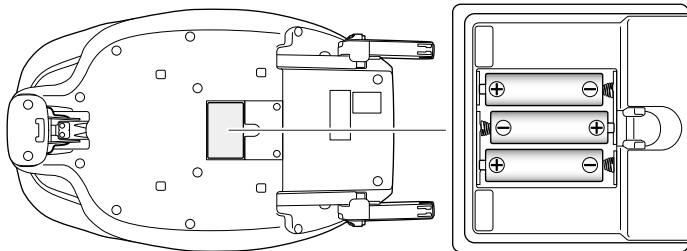
01

ベース裏面の電池ボックスの蓋を開けます。

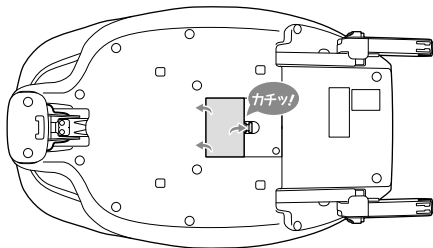


02

極性（プラス・マイナス）を確認して、電池をセットします。



蓋をしっかりと閉じます。



ボタン電池（CR2032）

リモートコントローラーにはあらかじめテスト用電池が組み込まれています。ご使用前に、リモートコントローラーから出ている絶縁フィルムを矢印の方向に引き抜いてください。

⚠危険 絶縁フィルムは、誤って口にしないよう、お子さまの手の届かない場所に廃棄してください。

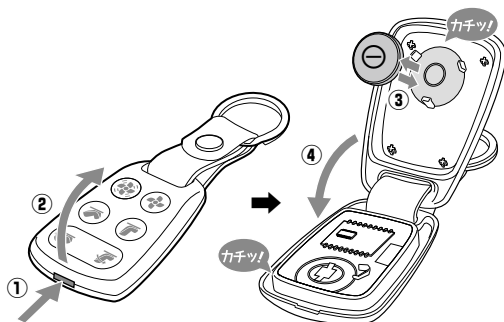


電池交換の手順

残量が少なくなりましたら、別途お買い求めの上交換してください。

01

- ①コイン等を先端部に差し込み、
- ②リモートコントローラーを開けます。
- ③ボタン電池を交換します。古い電池を取り外し、新しい電池を⊕を下向けにしてケースの爪の部分に固定されるまで押し込みます。カチッと音がして確実に固定されたことを確認してください。
- ④ケースを閉じます。カチッと音がしてしっかりと閉じられていることを確認してください。



⚠危険 ボタン電池をお子さまが誤って飲み込まないように注意してください。使用済みの電池は、お子さまの手の届かない場所で安全に廃棄してください。お住まいの自治体の定めに従って正しく廃棄してください。

基本的な使いかた

ここでは、本製品の基本的な使いかたについて説明しています。実際に使用する際は、お子さまの体重や体格、月齢に合わせて調節してください。

⚠危険 適切に使用すること。不適切な使用は、思わぬ事故につながります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく取り付け、お子さまの身長、体重、体格、月齢に応じて本書の指示に従い、適切に使用してください。

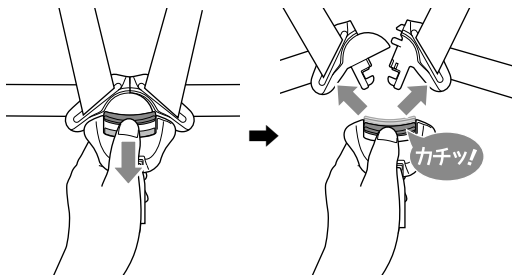
バックルの使いかた

⚠注意 本製品のバックルに磁石が使用されています。磁石により影響を受ける機器などを近づけないようにしてください。また、ペースメーカーを使用されている場合は、磁石により影響を受けるおそれがありますので使用を避けてください。

バックルの外しかた

01

バックルを外すには、受けバックルを握ってバックルボタンを押し下げます。「カチッ」と音がして、差込みタングが外れます。



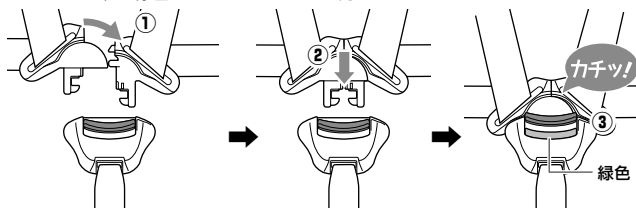
⚠注意 バックルの操作は固めです。バックルは、安全のため操作が固めになっています。お子さまの腹部を押さないように、受けバックルを手で握ってバックルボタンを操作してください。

バックルの留めかた

01

バックルを留めるには、ハーネスをねじらないように注意して、

- ①向かって左側の差込みタングを、右側の差込みタングに乗せるようにして合わせて、
- ②そのまま受けバックルに差し込み、
- ③「カチッ」と音がするようにしてバックルを留めます。バックルが正しく留まると、バックルボタンの下に緑色のインジケーターが現れます。



02

軽くハーネスを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

ポイント

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないときや保管するときもバックルは常に留めておくようにします。

危険

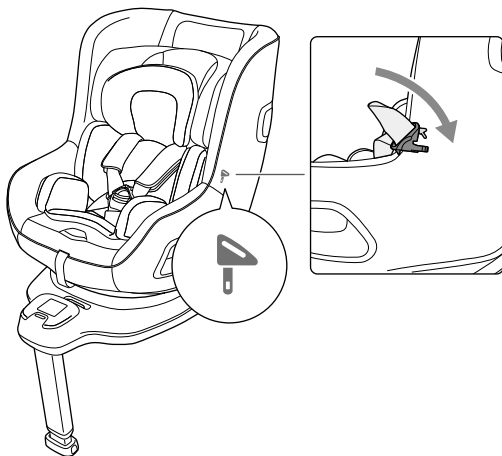
バックルは確実に留めて使用してください。バックルが正しく留まっていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

注意

バックルを清潔に保ってください。バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう注意してください。お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

差込みタング受け

本製品には、お子さまの乗せ降ろしに便利な差込みタング受けが装備されています。シェルの左右側面にある差込みタングの図が刺繍された部分に差込みタングを乗せるとマグネットで留めておくことができます。



⚠ 注意 マグネット（磁石）が使用されています。一部の医療機器には影響を与えるおそれがありますのでご注意ください。また、時計、磁気テープ、磁気カードなど磁気の影響を受けるおそれがあるものは近づけないでください。

ハーネスの長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じて肩ベルト（ハーネス）の長さを調節します。

⚠危険 肩ベルト（ハーネス）は必ず適切な長さに調節してください。肩ベルトが締められすぎたり、ゆるんでいたりとすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

01

肩ベルトをゆるめるには、

- ①シートの前端のベルトアジャスター（穴の中）にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、
- ②肩ベルトを持って、ゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。



肩ベルトを持って引き出します。肩ベルトパッドを持つと引き出せません。



ベルトアジャスターは穴（切れ込み）の中にあります。外側からは見えません。

02

- ①アジャストベルトを手前に引くと、
- ②肩ベルトが締まります。

⚠注意 アジャストベルトはゆっくりと引いてください。勢いよくアジャストベルトを引いたり、ハーネスを強く締めすぎると、お子さまに過剰な負担が掛かります。肩ベルトは適切な長さに締め付けてください。

ハーネスの高さ調節

ヘッドサポートと肩ベルト（ハーネス）の高さは連動しています。ヘッドサポートの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。お子さまの成長に合わせて、ヘッドサポートと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

参照 P66 > お子さまの乗せ降ろし > 06



危険 肩ベルトは必ず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、衝突や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどとして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

01

あらかじめ、ハーネスをゆるめておきます。

参照 P36 > ハーネスの長さ調節

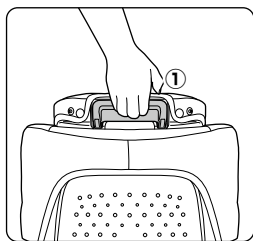


ポイント ハーネスとヘッドサポートは連動しています。ハーネスをゆるめておかないと、ハーネスが伸びきって、ヘッドサポートが高くなる方向に動きません。

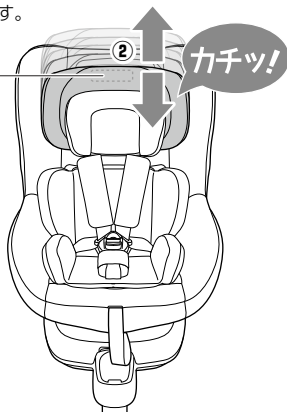
02

- ①ヘッドサポートアジャストレバーを握りながら、
- ②ヘッドサポートを上下にスライドさせて、ヘッドサポートの高さを調節します。目的の高さで握った手を放して軽く上下に動かすと「カチッ」と音がしてヘッドサポートが固定されます。

ヘッドサポートの高さは 6 段階で調節できます。



ヘッドサポートアジャストレバー



インファントインサート

身長が 60cm 未満かつ体重 13kg 以下のお子さまは、インファントインサートをお使いください。

参照 P14 > インファントインサートの使用

取り外し、取り付け

01

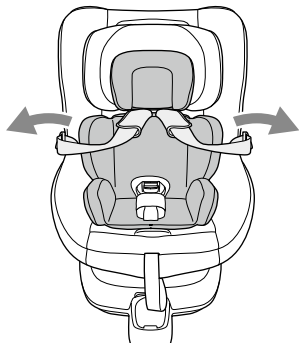
インファントインサートを取り外します。
あらかじめハーネスをゆるめておきます。

参照 P36 > ハーネスの長さ調節

02

バックルを外し、差込みタンブをシェルの外側に出して差込タング受けに留めておきます。左右とも同じようにしてください。

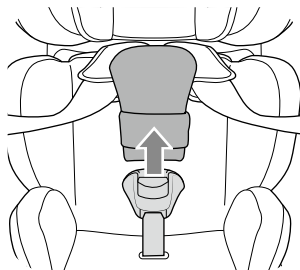
参照 P35 > 差込みタング受け



03

以下を参照して股ベルトパッドを受けバックルから抜き取ります。

参照 P75 > 股ベルトパッド



▽ポイント

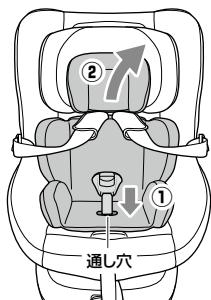
インファントインサートを取り付ける場合は、先にインファントインサートを受けバックルに通してから股ベルトパッドを取り付けてください。

⚠警告

股ベルトパッドは、必ず取り付けなおしてください。股ベルトパッドが取り付けられていないと、本製品が所定の安全性能を発揮できません。

04

- ①インファントインサートの通し穴から受けバックルを抜いて、
- ②インファントインサートを取り外します。



インファントインサートの取り付けは、取り外しの逆の手順で行ってください。

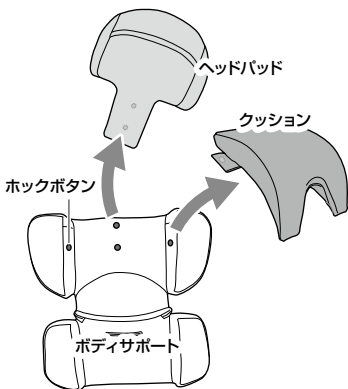
インファントインサートの分解

インファントインサートは、お手入れのために分解することができます。インファントインサートを使用する場合は、すべてを組み立てた状態で使用してください。

01

ヘッドパッドとクッションは、ボディサポートの裏側にそれぞれホックボタン（2カ所）で取り付けられています。ホックボタンを外して、ヘッドパッド、クッションを取り外してください。

⚠注意 クッションは洗濯できません。



05

股ベルトパッドを取り付けてバックルを留めます。

以下を参照して正しく取り付けてください。

参照 P75 > 股ベルトパッド

02

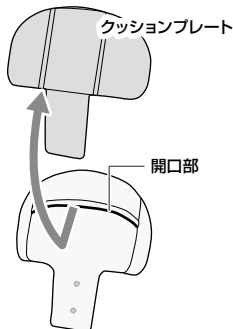
ヘッドパッドに内蔵されているクッションプレートは、お手入れ（洗濯）できませんので取り外してください。クッションプレートはヘッドパッド裏面の開口部から抜き取ることができます。



注意

クッションプレートを取り付ける場合には、樹脂プレート側をヘッドパッドの開口部側（裏面側）にして取り付けてください。

破損のおそれがありますので、クッションプレートを洗濯しないでください。



03

インファントインサートの組み立ては逆の手順で行ってください。

インファントインサートは、ボディサポート、クッション、ヘッドパッド（クッションプレート）のすべてを組み立てた状態でのみ使用できます。

参照 P14 > インファントインサートの使用

サイドインパクトプロテクションポッド (SIPP)

本製品には事故時などに生じる側面からの衝撃を緩和する安全機構のサイドインパクトプロテクションポッド（SIPP）が同梱されています。

SIPP は、お子さまを乗せて使用する状態で自動車のドア側のシェルに取り付けて使用します。

SIPP は 2 個同梱されていますが、1 つは予備となります。SIPP を 2 個同時には使用しないでください。

実際にご使用になる前に、SIPP を取り付けてみて、ドアの開閉に干渉しないかご確認ください。ドアに干渉する場合は SIPP は使用しないでください。

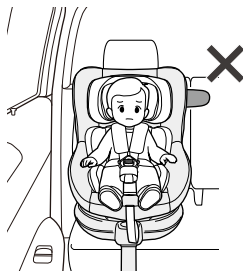
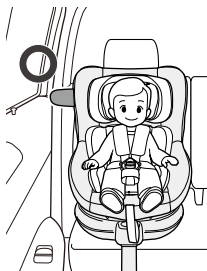
また、シェルを回転した際に車内の構造物に干渉する場合も、SIPP を取り外して使用してください。



注意

座席の位置に注意してください。SIPP は、お子さまを乗せて使用する状態で、自動車のドア側になるように取り付けます。本製品はシェルを回転させて後ろ向き、または前向きで使用しますので、使用する向きに応じて左右を確認して SIPP を取り付けてください。

中央席側(他の乗員側)には取り付けないでください。事故や衝撃を受けた際に、中央席側の乗員に SIPP があたりケガをするおそれがあります。



01

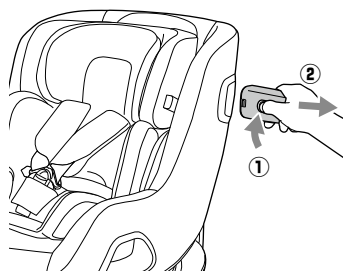
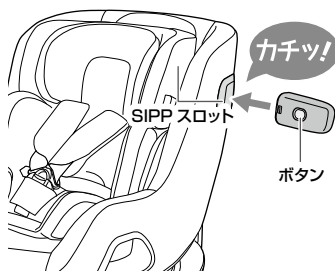
SIPP を取り付けるには、取り付ける側の SIPP 取り外すには、

スロットに、ボタンを手前側にして差し込みます。「カチッ」と音がして、SIPP が固定され

たことを確認してください。

02

① SIPP のボタンを押しながら、
② 引き抜きます。

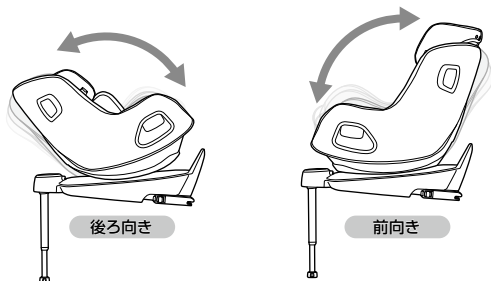


リクライニング

本製品の電動リクライニング機能を使用するには、アクセサリースOCKET（シガーソケット）からの電源供給（12V）が必要です。あらかじめ以下を参照して準備を完了させてから、操作を行ってください。

参照 P57-58 >アクセサリースOCKETに接続する

本製品にはシェルの角度を変えるリクライニング機構が装備されています。リクライニングは、5段階で調節可能です。後ろ向きモード、前向きモードとも5段階で調節して使用することができます。



ポイント

リクライニングは、お子さまの成長に応じて適切に調節してください。特に、月齢の低い間は、お子さまの様子を常を確認しながらリクライニングの調節をするようにしてください。お子さまの首がしっかりと座るまでは、リクライニングを最も寝かせた状態で使用します。

電動リクライニング

電動リクライニングは、ベースのコントローラーパネルまたはリモートコントローラーから操作することができます。

安全のため、コントローラーパネルの操作をロックすることもできます。ロックすると、リモートコントローラーでのみリクライニング操作ができます。

参照 P70-71 >コントロールパネル ※ロック／アンロックボタン参照

危険

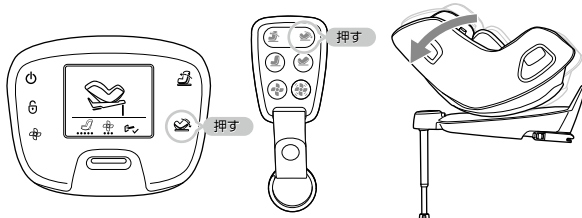
電動リクライニングを操作する際には、操作する方やお子さま、他の乗員が手指を挟まないように注意してください。

注意

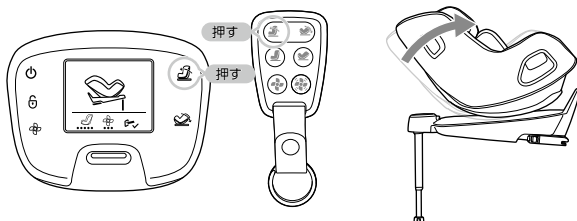
電動リクライニング使用時に、異臭、異音、過熱がする場合は使用を中止して、専用USB-C カーチャージャーをアクセサリースOCKETから抜いてください。

01

シェル（背もたれ）の角度を倒すには、コントロールパネルまたはリモートコントローラーの  ボタンを押します。一度押すとシェルが一段階倒れます。



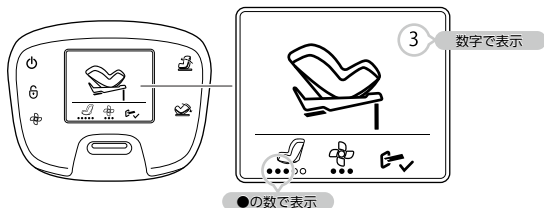
シェル（背もたれ）の角度を起こすには、コントロールパネルまたはリモートコントローラーの  ボタンを押します。一度押すとシェルが一段階起きます。



ポイント リモートコントローラーの   ボタンは、それぞれ一度にシェルを最も起こした状態、最も倒した状態にするためのボタンです。

02

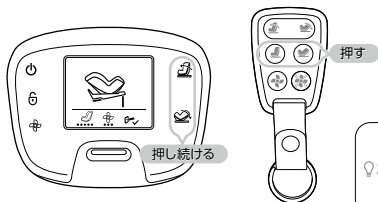
リクライニングの段階は、液晶モニターに表示されます。



ポイント 機構部の内部処理タイミングのズレにより、リクライニングの段階が表示されなかったり、誤った数字が表示される場合がありますが、故障ではありません。

03

リモートコントローラーの ボタンを一度押す、またはコントロールパネルの ボタンを押し続けると、リクライニングをそれぞれ最も立てた状態、寝かせた状態にすることができます。



コントロールパネルの ボタンは、押し続けている間連続してリクライニングが調節されます。

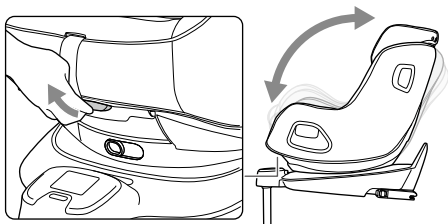
マニュアルリクライニング

電動リクライニングによらず、手でリクライニングを調節することもできます。

01

シェルの座面部先端下の、

- ①リクライニングレバーを引き上げて、
- ②シェルの角度を調節します。



⚠ 危険 思わぬ事故やケガにつながる恐れがありますので、リクライニングレバーで調節しているときには、電動リクライニングを操作しないでください。

⚠ 注意 リクライニングレバーは、シェルの座面部先端の下にあります。後ろ向きモードで使用している場合、シート背もたれと本製品の間に手を差し入れて操作することになりますので、手指を挟まないように注意してください。

💡ポイント 機構部の内部処理タイミングのズレにより、リクライニングの段階が表示されなかったり、誤った数字が表示される場合がありますが、故障ではありません。

キャノピー

お子さまの日除けになるキャノピーが付属しています。キャノピーは着脱できますので、必要に応じて取り付け、取り外しをしてください。

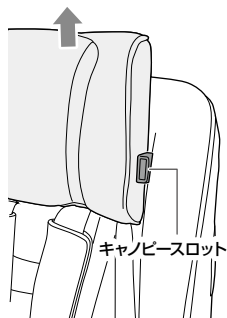
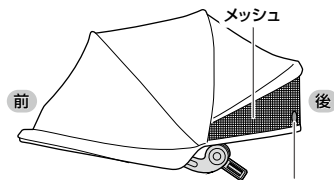
取り付け、取り外し

01

取り付けるには、あらかじめハーネスをゆるめて、ヘッドサポートを高い位置に調節しておきます。

参照 P36 >ハーネスの長さ調節

参照 P37 >ハーネスの高さ調節



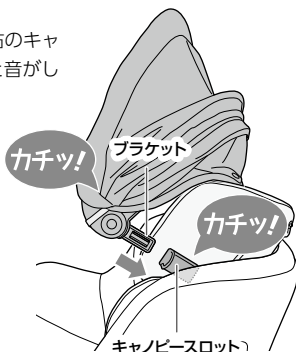
02

キャノピーの前後を確認します。メッシュ、ホックボタン ホックボタンのある側が後ろになります。

03

キャノピー左右のブラケットをヘッドサポート左右のキャノピースロットにそれぞれしっかりと「カチッ」と音がして固定されるまで差し込みます。

💡ポイント キャノピーを閉じた状態で作業すると、より簡単に取り付けられます。

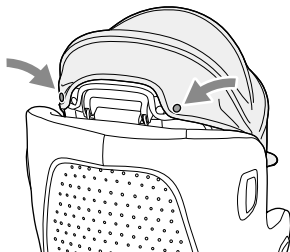


04

キャノピー後部のフックボタンをヘッドサポートに留めます（2カ所）。

ポイント

ヘッドサポートの位置が低すぎるとフックボタンを留めることができません。ボタンが留めにくい場合は、ヘッドサポートをさらに高く調節してください。



05

キャノピーを軽く動かして、確実に固定されていることを確認してください。

警告

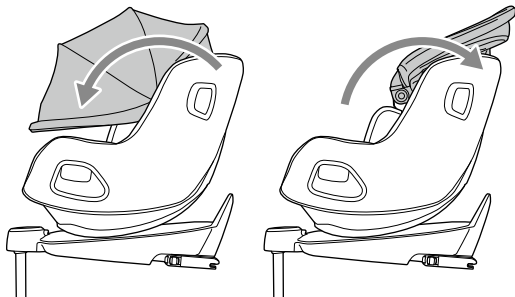
キャノピーで顔が覆われると窒息の危険があります。キャノピーが外れないよう、ブラケットは左右とも奥まで確実に差し込み、左右のフックボタンを確実に固定してください。

06

キャノピーの取り外しは逆の手順で行います。

使いかた

キャノピーの先端を持って前後に動かすとキャノピーを開閉することができます。



注意

キャノピーを閉じるとお子さまの様子を確認しにくくなります。特に月齢の低いお子さまの場合は、適宜キャノピーを開いてお子さまの様子を確認するようにしてください。

シェルの回転

本製品はシェルを回転させて、後ろ向き、前向きにモードを切り替えてして使用することができます。

前向きにしての使用は、お子さまの身長が 76cm を超え、かつ生後 15 ヶ月を超えてからとなります。それまでの期間は、後ろ向きモードでのみ使用することができます。

本製品では、誤ってシェルを前向きにしないようにする回転ロック機構を装備しています。回転ロック機構を使用すればシェルは前向きに回転できなくなりますので、誤使用のリスクを軽減して、より安心して本製品をご使用いただけます。

回転ロック機構は、シェル前端下部の回転ロックレバーを操作して使用します。

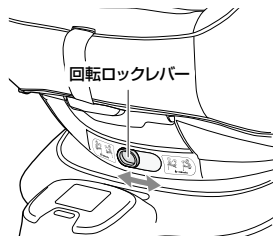
ポイント

シェルの回転させる場合は SIPP の向きを確認してください。SIPP はお子さまを乗せて使用する状態でドア側になるようにシェルに取り付けます。

回転ロック機構

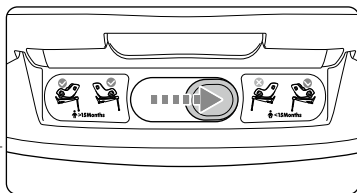
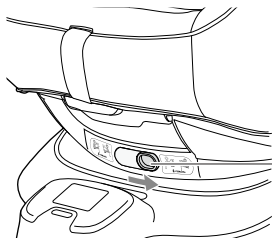
01

回転ロックレバーを左右にスライドさせて回転ロック機構を操作します。



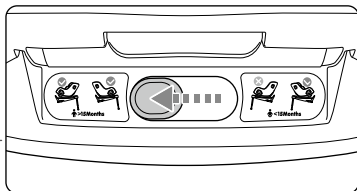
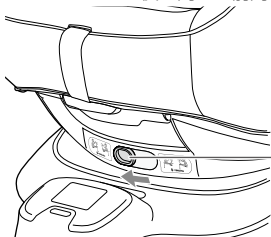
02

お子さまが生後 15 ヶ月かつ身長 76cm を超えるまでは、後ろ向きモードでのみ使用することができます。この場合、回転ロックレバーを右にスライドさせてシェルの回転をロックしてください。これにより、シェルはお子さまの乗せ降ろしのために横向きには回転しますが、前向きになるまでは回転できなくなります。



03

お子さまが生後 15 ヶ月、身長 76cm を超えて前向きモードで使用することができるようになったら、回転ロックレバーを左にスライドさせて回転ロックを解除してください。これにより、シェルは後ろ向き、前向きのどちらにも回転できるようになります。



ポイント

本製品は、前向きモードでの使用可能最終期まで、後ろ向きモードでも使用することができます。前向きモードで使用しない場合は、回転ロックレバーは右にスライドさせたままでご使用いただけます。

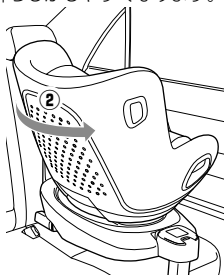
回転のしかた

01

前向きから後ろ向きに回転させます。シェルの左右にある、

- ①回転レバーを引き上げて、
- ②シェルを回転させます。

シェルを横向きの状態にすると、お子さまの乗せ降ろしがしやすくなります。



注意 シェルは横向きの状態では固定されませんのでご注意ください。

ポイント

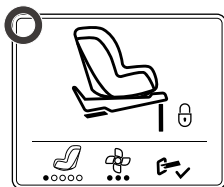
回転レバーは左右両方を操作する必要はありません。いずれか一方を引き上げれば回転させることができます。

02

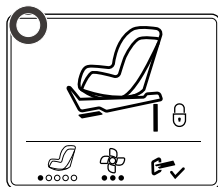
そのままシェルを後ろ向きになるまで回転させると、「カチッ」と音がしてシェルが後ろ向きで固定されます。シェルを軽く動かして、確実に後ろ向きで固定されていることを確認してください。



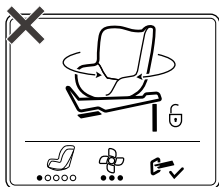
回転操作を行うと、液晶パネルにシェルの固定状態が表示されます。



前向きで固定



後ろ向きで固定



固定されていない



正しく固定されると、固定状態が約 5 秒表示された後、元の表示に戻ります。
固定されていない場合、正しく固定されるまでの間、固定を促す表示が続きます。

回転ロックレバーの状態に関わらず、前向きから後ろ向きへの回転は可能です。回転ロックレバーが右側にスライドされてロック状態になっている場合、前向きから後ろ向きへの回転はできなくなります。

03

後ろ向きから前向きへの回転も操作方法は同様です。ただし、前向きになるまで回転させるには回転ロックレバーを解除の状態（左側にスライドされている）にしておく必要があります。

前向きに回転させた場合も、シェルを軽く動かして、確実に前向きで固定されていることを確認してください。

参照 P47-48 > 回転ロック機構

電動ファン

本製品にはシェル内部に電動ファンが組み込まれています。気温の高い日などにシェル内の空気を循環させて快適に調節することができます。電動ファンを使用するには、アクセサリースOCKET（シガーソケット）からの電源供給（12V）が必要です。あらかじめ以下を参照して準備を完了させてから、操作を行ってください。

参照 P57-58 >アクセサリースOCKETに接続する

⚠注意

電動ファンの使用時に、異臭や異音がしたり、過熱が生じた場合は、ただちに使用を中止して、専用 USB-C カーチャージャーをアクセサリースOCKETから抜いてください。



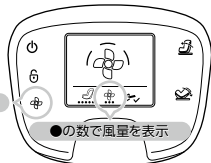
01

電動ファンを動かすには、コントロールパネルの ボタン、またはリモートコントローラーの ボタンを押します。

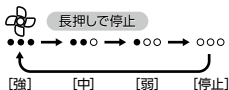
風量は3段階で調節可能で、 または を押すたびに [強] → [中] → [弱] の順に調節されます。

- コントロールパネルでは、[弱]の後にもう一度 を押すと電動ファンが停止します。また、 を長押ししても電動ファンを停止させることができます。
- リモートコントローラーで電動ファンを止めるには、 を押ししてください。

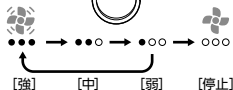
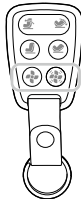
コントロールパネル



押す / 長押しで停止



リモートコントローラー



自動車の座席への取り付けかた

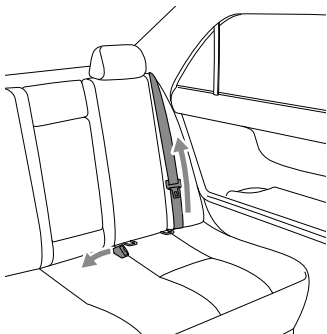
⚠ 注意 安全のため、取り付け、取り外しの作業中はお子さまを近づけないようにしてください。

取り付けかた

ISOFIX 固定装置（ロアアンカー）に取り付ける

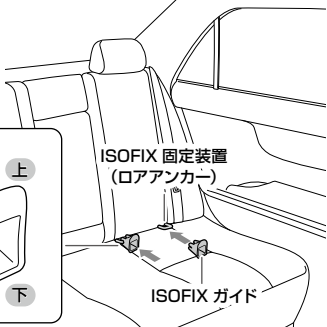
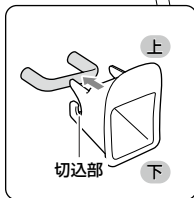
01

座席のシートベルトは留めずに、巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートベルトタンブやシートベルトバックル、その他のものの上に本製品を乗せないように注意してください。



02

ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定装置（ロアアンカー）に差し込みます。ISOFIX ガイドの切込部を ISOFIX 固定装置（ロアアンカー）に差し込むようにして取り付けてください。



ポイント

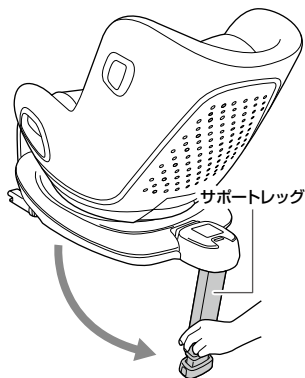
車種によっては、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできます。ただし ISOFIX 固定装置（ロアアンカー）の周囲の座席の生地にキズがつく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ISOFIX 固定装置（ロアアンカー）の場所や使いかたについては自動車の取扱説明書を参照してください。

03

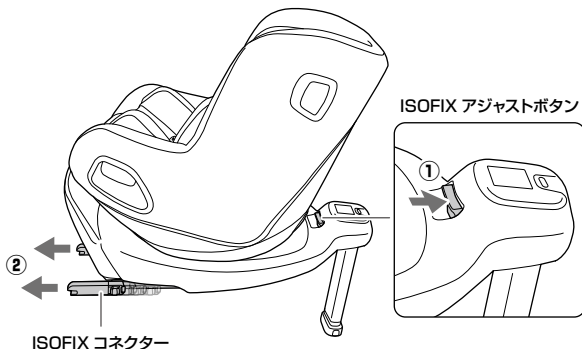
サポートレッグを最後まで開きます。

⚠ 注意 サポートレッグは固定されていません。本体を持ち上げるとサポートレッグが開き（閉じ）ますのでご注意ください。



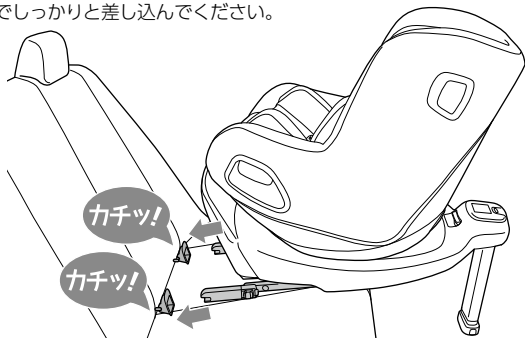
04

- ① ベース先端部の ISOFIX アジャストボタンを押し込みながら、
 - ② ISOFIX コネクタを引き出します。最後まで引き出してください。
- ISOFIX コネクタは左右連動していますので、左右のいずれか一方を引けば両方の ISOFIX コネクタを引き出すことができます。



05

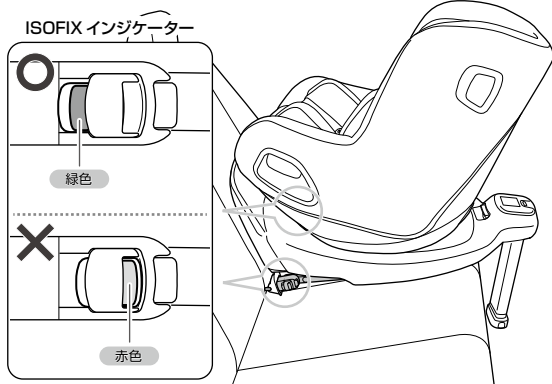
本製品をシート座面に置き、左右の ISOFIX コネクターを、それぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。左右それぞれカチッと音がして ISOFIX 固定装置（ロアアンカー）に固定されるまでしっかりと差し込んでください。



06

ISOFIX コネクターの ISOFIX インジケーターが左右とも緑色になっていることを確認します。必ず左右両方とも確認してください。

左右いずれか一方でも緑色になっていない（赤色のまま）場合は、もう一度操作をやりなおしてください。





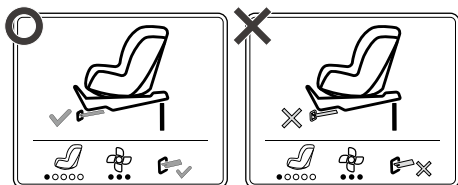
危険

ISOFIX コネクターが確実に ISOFIX 固定装置(ロアアンカー)に取り付けられていないと、衝突や急制動の際に、チャイルドシートが自動車の座席から外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

左右の ISOFIX インジケーターのいずれか一方でも赤色の場合は正しく取り付けられていない状態ですので、両方の ISOFIX インジケーターが緑色になるよう取り付け直してください。

液晶パネルに ISOFIX コネクターの固定状態が表示されます。

左右いずれか一方でも正しく固定されていない場合は赤色で×が表示され、左右とも正しく固定されると緑色で✓が表示されます。



💡ポイント

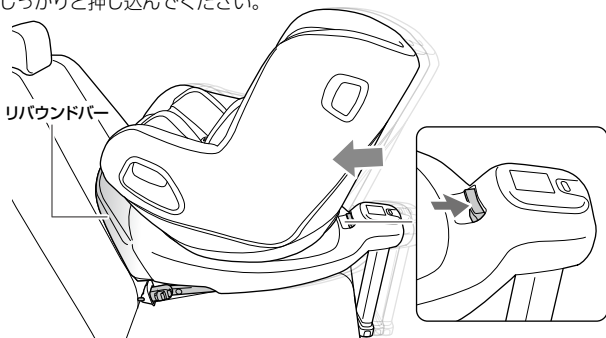
シェルの回転または ISOFIX コネクターの固定操作を行うと、コントロールパネルの電源が自動 ON になりますが、12V 給電がない場合、5 分間の無操作で自動シャットダウンされます。

07

本製品を手前に引いて ISOFIX コネクターが抜けないことを確認します。

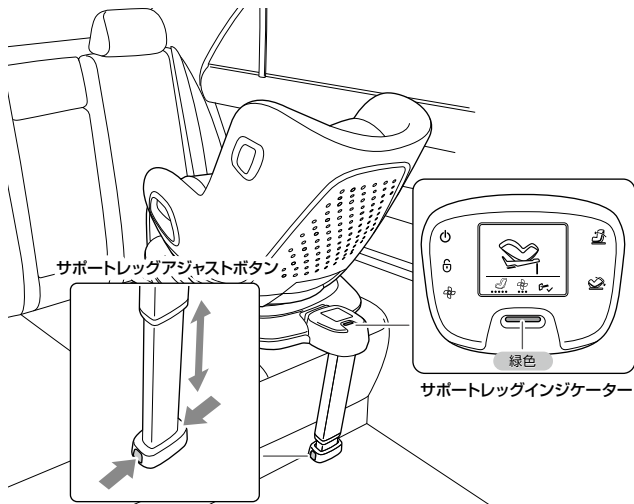
08

- ① ISOFIX アジャストボタンを押し込んで、
- ②本製品をシート背もたれ側に押し付けます。リバウンドバーがシート背もたれに接するまでしっかりと押し込んでください。



09

- ① サポートレッグアジャストボタンを左右から押し込んで、サポートレッグの長さを調整します。サポートレッグの先端が、まっすぐ床面に接して、かつベースが座席のシート座面から浮き上がらないようにします。
- ② コントロールパネル下部にあるサポートレッグインジケータが緑色になっていることを確認します。赤色の場合は、サポートレッグが正しく調整されていませんので、緑色になるまで調節しなおしてください。



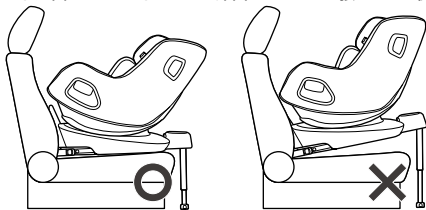
サポートレッグが完全に床面に接地すると、サポートレッグインジケータは緑色になります。赤色の場合は、サポートレッグが完全には接地していませんので、サポートレッグを調節して、サポートレッグインジケータが緑色になるようにしてください。



危険

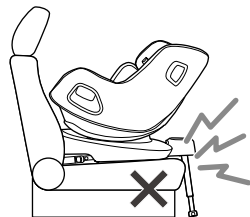
サポートレッグは、安全上、大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面の平面部に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

⚠警告 ベースをシート座面から極端に浮かせないように注意してください（車種によっては、多少浮くこともありますが、使用には差支えありません）。サポートレッグを調節する際には、ベースの底面がシート座面に、サポートレッグが床面に、それぞれ接している状態にします。



💡ポイント

背もたれ側に押し付けすぎると、座席によってはサポートレッグが過剰に座席に干渉する場合があります。サポートレッグが過剰に干渉しない範囲で押し付けるようにしてください。押し付けすぎた場合は、ISOFIX アジャストボタンを操作して、少し手前に引き戻してください。



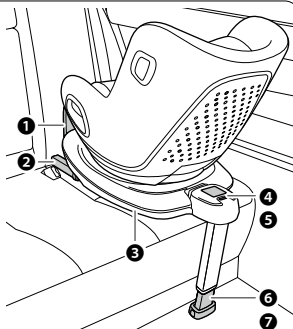
10

正しく固定されていることを確認します。

以下のチェックリストを確認してください。一つでも正しくない部分があれば、正しい状態になるよう操作しなおしてください。

✓チェックリスト

- ① ベースのリバウンドバーがシート背もたれに接するまでしっかりと押し込まれていること。
- ② 左右の ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定装置（ロアアンカー）に固定され、ISOFIX コネクターのインジケーターが左右とも緑色になっていること。
- ③ ベースの底面がシート座面に接していること（極端に浮いていないこと）。
- ④ シェルが後ろ向き、または前向きで固定されていて、回転インジケーターが緑色になっていること。
- ⑤ サポートレッグインジケーターが緑色になっていること。
- ⑥ サポートレッグが完全に開かれていて、サポートレッグの先端が床面に接していること。
- ⑦ サポートレッグの下、周辺に物が置かれていないこと。



アクセサリースOCKET（シガーソケット）に接続する

自動車のアクセサリースOCKETから本製品に給電します。以下の操作は、先に本製品を座席に固定してから行ってください。



危険

専用 USB-C ケーブルの取り扱いや接続の際は、お子さまの安全に十分配慮してください。お子さまの体にケーブルが巻き付いたり、首に絡まったりすると、窒息や重大なけがにつながるおそれがあります。ケーブルは保護者の目の届かない場所で使用したり、放置したりしないでください。



注意

専用 USB-C ケーブルおよび専用 USB-C カーチャージャーを使用後は、本製品から取り外し、お子さまの手の届かない場所に保管してください。お子さまの体にケーブルが巻き付くなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまや他の乗員が乗り降りする際は、ケーブルに足や体を引っ掛けないよう十分ご注意ください。転倒によるケガや、本製品やケーブル、カーチャージャーの破損の原因となります。

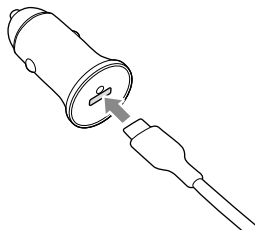
01

専用 USB-C カーチャージャーに、専用 USB-C ケーブルのプラグを接続します。



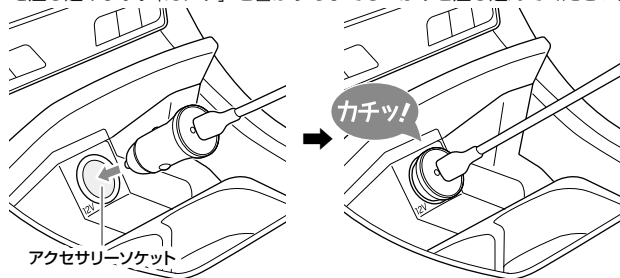
注意

付属の専用品をご使用ください。市販の USB-C ケーブル、延長ケーブルなどは使用しないでください。



02

自動車のアクセサリースOCKET（シガーソケット）DC12V に、専用 USB-C カーチャージャーを差し込みます。「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。



本製品は 12V 車専用です。24V 車（大型トラックなど）のアクセサリースOCKETに接続すると、基盤の破損や過熱、発火のおそれがあります。



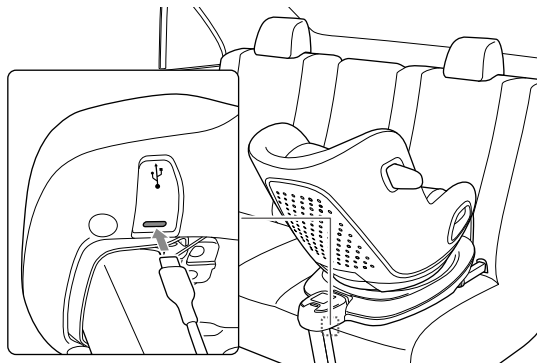
警告

専用 USB-C ケーブルを車のシートレールやドア、チャイルドシートの可動部に挟まないよう配置してください。断線やショート（短絡）による火災の原因となります。

接触不良による発熱の危険がありますので、アクセサリースOCKET内部にゴミやホコリが溜まっていないか確認してから専用 USB-C カーチャージャーを差し込んでください。

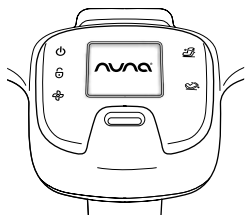
03

専用 USB-C ケーブルのもう一方のプラグをベース先端部の裏側（コントロールパネルの下側）にある USB-C 入力ポート（DC12V/2.5A）に接続します。



04

自動車のエンジンスイッチ（電源ポジション）を「ACC」または「ON」にすると、自動的に本製品の電源が入ります。アクセサリースOCKETからの給電により、電動ファン、電動リクライニング機構が使用できるようになります。



エンジンが停止した状態で電動機能を長時間使用しないでください。車のバッテリーが上がり、エンジンがかからなくなるおそれがあります。

車種によってはエンジンを切った後もアクセサリソケットに通電し続ける場合があります。降車時は必ず専用 USB-C カーチャージャーを抜いてください。



注意

お子さまの飲みこぼしや雨などで、コントロールパネルや接続端子を濡らさないでください。電気回路の故障や感電、過熱の原因となります。

冬場の車内などで急激な温度変化により内部結露が生じた場合、完全に乾くまで通電を控えてください。

05

使用後は、専用 USB-C カーチャージャー、専用 USB-C ケーブルを取り外して、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取り外しかた

01

あらかじめ専用 USB-C カーチャージャー、専用 USB-C ケーブルを取り外しておきます。

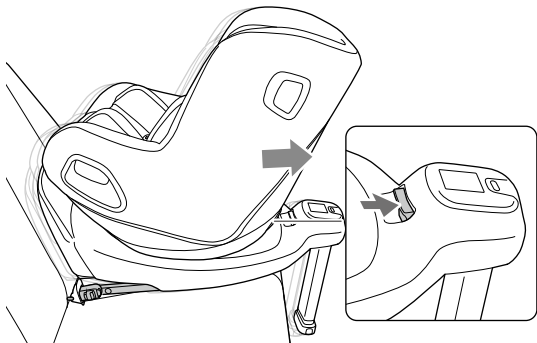


注意

本製品を取り外す際は、必ず先に専用 USB-C カーチャージャーおよび専用 USB-C ケーブルを取り外してください。接続したまま取り外すと、突然電動リクライニング機構が動いたり、ケーブルが周囲に引っ掛かるなどして、ケガや製品の破損を招くおそれがあります。

02

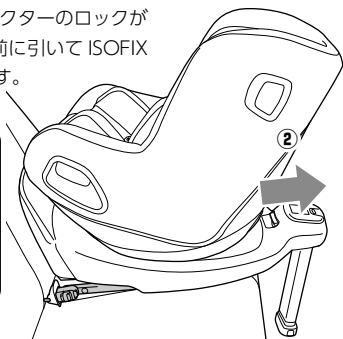
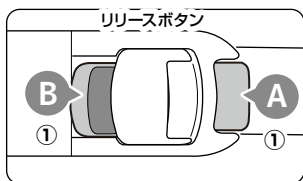
ISOFIX アジャストボタンを押し込んで、本製品を手前に引き出します。



03

ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定装置（ロアアンカー）から取り外します。左右の ISOFIX コネクターを同時に操作してください。

- ① A のリリースボタンを押しながら、
- ② B のリリースボタンを押すと ISOFIX コネクターのロックが解除されますので、そのままベースを手前に引いて ISOFIX 固定装置（ロアアンカー）から抜き取ります。



片側の ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定装置（ロアアンカー）から取り外されてしまうと、他方の ISOFIX コネクターの取り外しができなくなります。このような場合、再度 ISOFIX 固定装置（ロアアンカー）に ISOFIX コネクターを押し込んで両方とも固定してから、取り外しの操作をやりなおしてください。

ポイント

左右のリリースボタンを同時に操作しながら、本製品を手前に引いて取り外します。本製品を手前に引かないと、ISOFIX コネクターが再度ロックされてしまいます。

作業スペースが狭く ISOFIX コネクターの操作をしにくい場合は、ISOFIX アジャストボタンを使って、本製品を少し前方に引き出すと作業がしやすくなります。

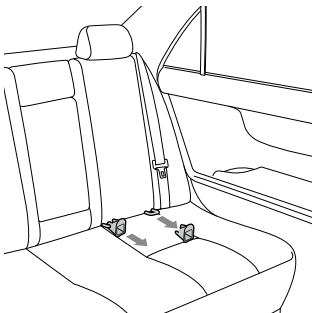
参照 P59 > 取り外しかた > 02

04

ISOFIX ガイドを取り外します。ISOFIX ガイドはなくさないよう、大切に保管してください。

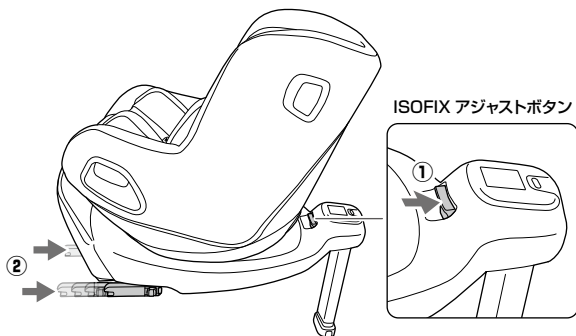
⚠ 注意

ISOFIX ガイドは取り付けたまにしないでください。ISOFIX ガイドが紛失、破損したり、同乗者がケガをするおそれがあります。ISOFIX ガイドは、必ず取り外した上、お子さまの手の届かない場所で、なくさないよう大切に保管してください。



05

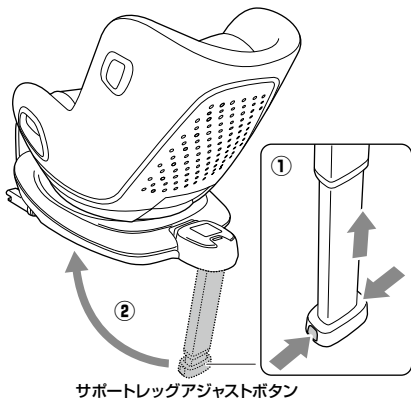
- ① ISOFIX アジャストボタンを押し込んで、
- ② ISOFIX コネクターをベースに収納します。



⚠ 注意 破損や故障、ケガなどのおそれがありますので、本製品をシートから外したら ISOFIX コネクターはベース内に収納しておくようにしてください。

06

- ① サポートレッグアジャストボタンを操作し、サポートレッグを最も短い状態にして、
- ② サポートレッグをベース側に折りたたみます。



07

サポートレッグが開かないように片手でサポートレッグを支えて、本製品を自動車から取り出します。



サポートレッグは閉じた状態で完全には固定されていません。本体を持ち上げるとサポートレッグが開くことがありますのでご注意ください。

なお、サポートレッグは開いた状態でも固定されませんので、持ち上げる際はご注意ください。

お子さまの乗せかた

本製品は、自動車の進行方向に対してシェルを後ろ向きまたは前向きにして使用しますが、使用可能な向きは、お子さまの身長および月齢により異なり、本製品の適合する基準によって定められています。



お子さまの身長が 76cm 以上かつ生後 15 ヶ月を超えるまでは、後ろ向きモードでのみ使用可能です。前向きで使用してはいけません。

参照 P13 > 使用可能なお子さまの範囲



お子さまの乗せ降ろしは、本製品を正しく自動車の座席に取り付けてから行ってください。お子さまを乗せた状態で本製品を持ち上げたりすると、転倒したり、お子さまが落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。



お子さまを乗せ降ろしする際は、本製品に接続されている専用 USB-C ケーブルが体に絡まないよう十分ご注意ください。転倒や、ケーブルが首や体に巻き付くなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

準備

お子さまの月齢が低い間は後ろ向きモードで使用します。本製品は使用可能な期間の最後まで（お子さまの身長が 105cm かつ体重 18.5kg まで）後ろ向きで使用することができますが、後ろ向きで使用した場合に、お子さまの足が自動車の座席の背もたれにあたるようになったら、前向きにして使用してください。

01

●本製品が正しく自動車の座席に取り付けられていることを確認してください。

参照 P56 > ISOFIX 固定装置（ロアアンカー）に取り付ける > 10 > チェックリスト

●お子さまの月齢、体格に応じてインファントインサートを取り付けてください。



身長が 60cm 未満かつ体重 13kg 以下のお子さまは、インファントインサートを取り付けて使用してください。

参照 P14 > インファントインサートの使用

- お子さまの体格やシート座面、シート背もたれの角度に応じて、リクライニングの角度を調節してください。新生児期、お子さまの首がしっかりと座るまではリクライニングを最も寝かせた状態にして使用します。

参照 P42-44 >リクライニング

- SIPP が自動車のドア側になるように取り付けられていることを確認します。

参照 P40-41 >サイドインパクトプロテクションボッド (SIPP)

💡ポイント

SIPP は、お子さまを乗せて使用する状態でドア側になるように取り付けます。本製品はシェルが回転しますので、取り付けの向きにご注意ください。

- 「取使用可能なお子さまの範囲」に応じて、回転ロックレバーをセットします。

参照 P47-48 >回転ロック機構

お子さまの乗せ降ろし

お子さまの乗せ降ろしのしかたは、後ろ向きモードでも前向きモードでも基本的には同様です。

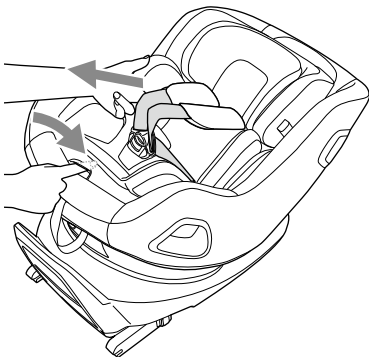
ただし、適切な肩ベルトの高さなど、後ろ向きモードと前向きモードでは異なる部分もありますのでご注意ください。

💡ポイント 図は後ろ向きモードでの使用状態を示しています。

01

あらかじめ肩ベルトを十分にゆるめてバックルを外しておきます。

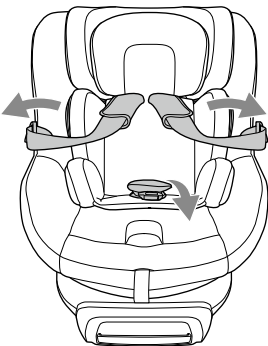
参照 P36 >ハーネスの長さ調節



02

お子さまが受けバックルや差込みタングの上に座らないよう、股ベルト（受けバックル）を前側に倒し、左右の差込みタングを外側に出しておきます。差込みタングは、差込みタング受けに留めておくと、よりお子さまの乗せ降ろしがしやすくなります。

参照 P35 > 差込みタング受け



03

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせませす。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）をを起こして両足の間に入れます。

ポイント

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。

後ろ向きの場合



浅すぎる



深すぎる

前向きの場合



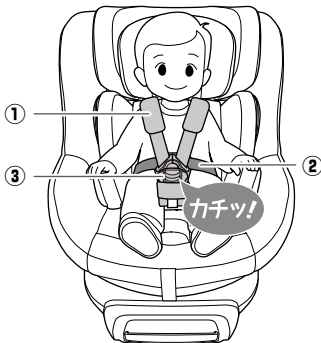


危険 誤った姿勢で乗せるとお子さまがハーネスを正しく装着できず、衝突や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

04

ハーネスが十分にゆるんでいることを確認してください。

- ① 肩・腰・股の各ベルトにねじれがないことを確認しながら、お子さまの腕を肩ベルトに通します。肩ベルト（パッド）を肩にあわせて、
- ② 腰ベルトが骨盤の上を通るように調節して、
- ③ 「カチッ」と音がするように、しっかりとバックルを留めます。



危険 ハーネスとバックルを正しくお使いください。誤った状態で使用すると、お子さまを適切に保護することができません。



警告 ハーネスにねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める前に、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。



ポイント 肩ベルトの高さの調節をおこなうと、さらにハーネスが締め付けられるおそれがあります。ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、ハーネスをさらにゆるめてからバックルを留めます。

05

バックルボタンの下部に緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。

参照 P33-34 > バックルの使いかた



危険 差込みタングが受けバックルにしっかりと差し込まれ、緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。お子さまが操作されてバックルが外れたりすることもありますので、本製品の使用中は適宜バックルの状態を確認してください。差込みタングを受けバックルに差し込んでも緑色のインジケーターが表示されない場合は、ご使用にならないでください。

06

ヘッドサポートの高さを調節し、肩ベルトがお子さまの肩の高さに合うように調節してください。ヘッドサポートの高さは6段階で調節することができます。

後ろ向きモードの場合



後ろ向きモードで使用する場合は、お子さまの肩の高さと同じか、またはお子さまの肩の位置に最も近く、かつお子さまの肩の位置より低い段階に調節します。

前向きモードの場合



前向きモードで使用する場合は、お子さまの肩の高さと同じになるように調節します。

参照 P37 >ハーネスの高さ調節



危険

後ろ向きモードと前向きモードでは、適切な高さが異なります。それぞれの適切な高さで調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと衝突や急制動の際にお子さまに過度の負担がかかったり、お子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

肩ベルトの高さ調節は、お子さまに負担がかからないよう、やさしく、ゆっくりと操作してください。



ポイント

肩ベルトの高さは使用毎に調節する必要はありませんが、適切な高さになっているか使用前には確認するようにしてください。

インファントインサートを取り外け、取り外した場合は肩ベルトの高さ調節が必要となります。

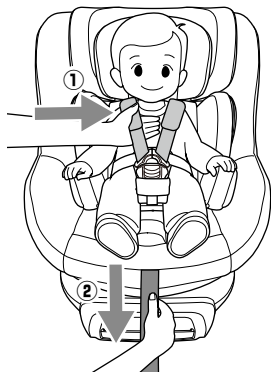
また、お子さまの成長に合わせて適宜調節してください。

07

肩ベルトとお子さまの間に、

- ①片手の掌を差し込み、
- ②別の手でアジャストベルトをゆっくりと引いて、締め付けます。

差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれる程度まで締め付けるようにします。



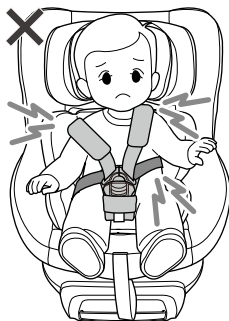
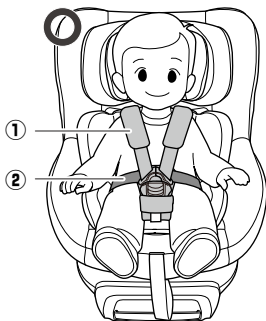
⚠危険 アジャストベルトを、勢いよく引っ張らないでください。肩ベルトは、ゆるすぎると落下の危険があり、締めすぎるとお子さまに負担をかけるため、必ず適切な強さで調節してください。

💡ポイント 締め付けすぎた場合は、一旦ハーネスをゆるめてから締めなおしてください。

08

ハーネスが正しい状態になっていることを今一度確認してください。

- ①肩ベルト（肩ベルトパッド）が、お子さまの肩を通り、
- ②腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るよう、必ず確認して、正しくなるように調節してください。



ハーネスを正しく装着していないと、衝突や急ブレーキの際にお子さまを守ることができません。以下を必ず確認してください。



危険

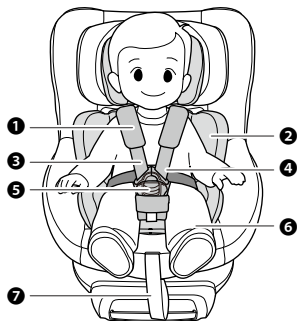
- ・ハーネスに、ゆるみ・ねじれがないか。
- ・肩ベルトが身体にフィットしているか。
- ・肩ベルトが腕や首を圧迫していないか。
- ・腰ベルトがお腹や太ももの位置にずれていないか。

※使用中も、ベルトがずれたり緩んだりしていないか、こまめにチェックしてください。

お子さまの身長が 76cm 以上になり、かつ生後 15 ヶ月を過ぎるまでは後ろ向きでのみ使用可能です。前向きで使用してはいけません。

09

以下のチェックリストを確認して、各部が正しい状態になっているか確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



✓チェックリスト

- ① 肩ベルトの高さが適切に調節されていること
- ② インファントインサートが適切に使用されていること
・身長 60cm 未満かつ体重 13kg 以下のお子さまは、インファントインサートを使用してください。
・前向きで使用する場合、インファントインサートは使用できません。
- ③ ハーネスが適切に締め付けられていること
- ④ 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと
肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていること
腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること
- ⑤ バックルがしっかりと留まっていること
緑色のインジケーターが表示されていること
- ⑥ お子さまが正しい姿勢で座っていること
- ⑦ リクライニングが適切に調節されていること

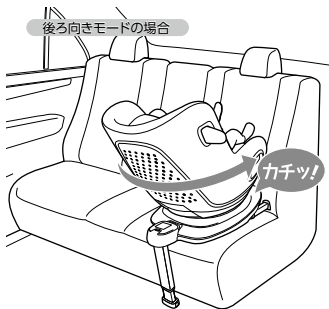


本製品のバックルはお子さまが外せないよう固くなっていますが、万が一の事故を防ぐため、お子さまの力が強くなってきたら、バックルに触れないよう、日頃から繰り返し言い聞かせてください。

10

シェルが横向き、または斜め向きになっている場合は「カチッ」と音がするまでシェルを回転させて固定します。後ろ向きモードで使用する場合は後ろ向き、前向きモードで使用する場合は前向きにして固定してください。軽くシートを動かして、後ろ向きまたは前向きで確実に固定されていることを確認してください。

参照 P47-49 >シェルの回転



! 前向きモードは、身長 76cm 以上、かつ
生後 15 ヶ月を超えてから使用可能

! 危険

お子さまがシートベルトに引っかかったり、お子さまの手足が座席と本製品の間に挟まれていると、ケガをするおそれがあります。シェルを回転させる際には、お子さまの安全を確認して、ゆっくりと回すようにしてください。

シェルは後ろ向きまたは前向きにして確実に固定してください。シェルを横向きや斜めの状態にして使用してはいけません。



11

お子さまを降ろすには、降ろしやすい方向にシェルを回転させます。

バックルを外してお子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

⚠ 警告 勢いよくお子さまを降ろすと、肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合などに思わぬ事故につながるおそれがあります。お子さまがハーネスなどに引っかからないように注意しながら、ゆっくりと降ろすようにしてください。

12

お子さまを降ろした後、バックルを留めてシェルは使用していた向き（後ろ向き、または前向きのいずれか）にして固定しておいてください。

コントロールパネル

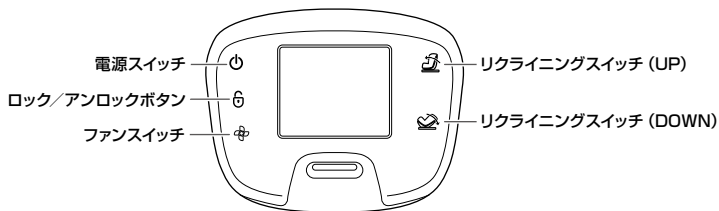
コントロールパネルは、取り付け操作時にも使用しますので、必ず所定の電池ボックスに電池を入れておいてください。

⚠ 注意

液漏れによる故障、破損を防ぐため、本製品を長期間に渡って使用しない場合は電池を取り外しておいてください。

電気回路の故障や感電、異常の原因となるおそれがありますので、お子さまの飲みこぼしや雨などでコントロールパネルを濡らさないようにしてください。

各ボタンの動作



💡 ポイント

操作はタッチ式のため、押す位置やタイミングによっては反応しにくい場合があります。その場合、押す位置を少しずつ変えてタッチしてください。

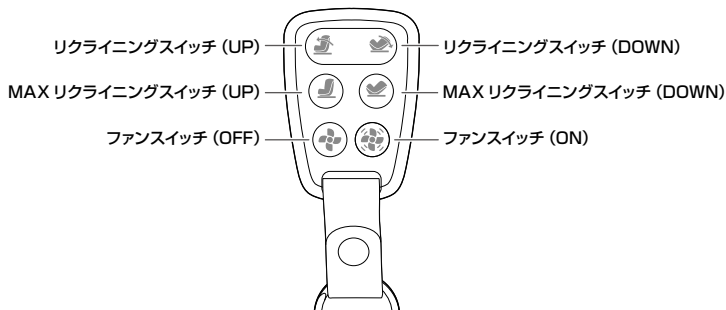
アイコン	ボタンの名称	動作 / 機能
	電源スイッチ	1- 長押しで電源の入／切。 2- USB ポートに給電が開始されると自動的に電源が入ります。 3- 操作がない状態がおよそ 5 分間続くと、あるいは (12V 電源が未接続の状態) バッテリー電圧が低下すると、自動的に電源が切れます。再度操作するには、電源をオンにしてください。 4- ボタン操作が約 30 秒間行われないと、コントロールパネルは自動的にロックされます。 5- 電源を切るには、コントロールパネルのロックを先に解除してください。
	ロック／アンロックボタン	1- 長押しでコントロールパネルの操作をロック、解除を切り替えます。コントロールパネルの操作をロックすると、お子さまや他の乗員による誤操作を防ぐことができます。 2- ボタン操作が約 30 秒間行われないと、コントロールパネルは自動的にロックされます。 3- コントロールパネルがロックされた状態でも、電源スイッチとロック／アンロックボタンは操作することができます。 4- その他の機能の操作をしたい場合は、リモートコントローラーによって操作するか、ボタンを長押ししてコントロールパネルのロックを解除してください。
	ファンスイッチ	1- 電動ファンを使用するためには、USB ポートからの 12V 給電が必要です。正しく給電されていない状態でボタンを押すと、液晶画面に給電を促すアイコンが表示されます。 2- コントロールパネルがロックされていると、ボタンを押しても電動ファンは機能しません。先に「ロック／アンロックボタン」を長押ししてコントロールパネルのロックを解除してください。 3- USB ポートからの 12V 給電がないか、コントロールパネルがロックされている場合は、ボタンのバックライトが消灯します (暗く表示されます)。 4- ファンスイッチを短く押すたびに、電動ファンは以下の順で切り替わります。[強] (風量大) → [中] (風量中) → [弱] (風量弱) 電動ファンを止めるには、ボタンを長押ししてください。
	リクライニングスイッチ (UP) / (DOWN)	1- 電動リクライニングを使用するためには、USB ポートからの 12V 給電が必要です。正しく給電されていない状態でボタンを押すと、液晶画面に給電を促すアイコンが表示されます。 2- コントロールパネルがロックされていると、ボタンを押しても電動リクライニングは機能しません。先に「ロック／アンロックボタン」を長押ししてコントロールパネルのロックを解除してください。 3- USB ポートからの 12V 給電がないか、コントロールパネルがロックされている場合は、ボタンのバックライトが消灯します (暗く表示されます)。 4- (UP) または (DOWN) ボタンを短く押すと、1 回押すごとに、それぞれリクライニングの角度が 1 段階変わります。 5- (UP) または (DOWN) ボタンを長押しすると、それぞれ連続してリクライニングの角度が変わります。 ※リクライニングの詳細は P.44 を参照してください。

リモートコントローラー

リモートコントローラーには、CR2032 ボタン電池を使用します。

⚠危険 ボタン電池をお子さまが誤って飲み込まないように注意してください。

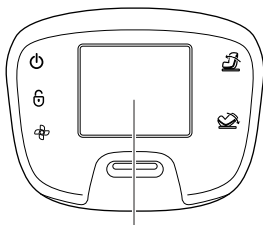
⚠注意 液漏れによる故障、破損を防ぐため、本製品を長期間に渡って使用しない場合は電池を取り外しておいてください。
電気回路の故障や感電、異常の原因となるおそれがありますので、お子さまの飲みこぼしや雨などでコントロールパネルを濡らさないようにしてください。



アイコン	ボタンの名称	動作 / 機能
	リクライニングスイッチ (UP) / (DOWN)	1- 電動リクライニングを使用するためには、USB ポートからの 12V 給電が必要です。正しく給電されていない状態でボタンを押してもリクライニングは動作しません。 2-(UP) または (DOWN) ボタンを押すと、1 回押すごとに、それぞれリクライニングの角度が 1 段階変わります。
	MAX リクライニングスイッチ (UP) / (DOWN)	1- 電動リクライニングを使用するためには、USB ポートからの 12V 給電が必要です。正しく給電されていない状態でボタンを押してもリクライニングは動作しません。 2-(UP) または (DOWN) ボタンを押すと、それぞれリクライニングの角度が最も立った状態、または、最も倒れた状態に変わります。
	ファンスイッチ (ON/OFF)	1- 電動ファンを使用するためには、USB ポートからの 12V 給電が必要です。正しく給電されていない状態でボタンを押しても電動ファンは動作しません。 2- ファンスイッチ (ON ) を押すたびに、電動ファンは以下の順で切り替わります。 [強] (風量大) → [中] (風量中) → [弱] (風量弱) 3- ファンスイッチ (OFF ) を押すと電動ファンは停止します。

液晶ディスプレイ

液晶ディスプレイには、本製品の取り付けや、機能の状態などの情報が表示されます。取り付け操作時にも表示される内容がありますので、必ず所定の電池ボックスに電池を入れておいてください。



液晶ディスプレイ

表示	内 容
	1- 電池が入っていない、または電池が切れている状態で、USB ポートから給電が開始されると表示されます。電池ボックスに電池を入れる、または電池を交換してください。
	1-12V 給電が開始されていない状態で、12V 給電が必要な操作（電動リクライニング・電動ファン）を行った場合に表示されます。USB ポートから給電を開始してください。
	1- 通常使用時の表示です。 ① シートの向きを示しています。左図の場合は後ろ向きで固定されている状態を示しています。 ② リクライニングの段階を示しています。 ③ 電動ファンの状態を示しています。 ④ ISOFIX コネクターの状態を示しています。赤く×が表示されている場合は、ISOFIX コネクターが正しく固定されていません。
	1- シェルを回転させると表示されます。左図は回転がロックされていない状態を示しています。シェルを後ろ向き、または前向きにしてロックしてください。 2- ロックされると、⑥ の表示に切り替わり、5 秒後に通常使用時の画面に戻ります。

ポイント

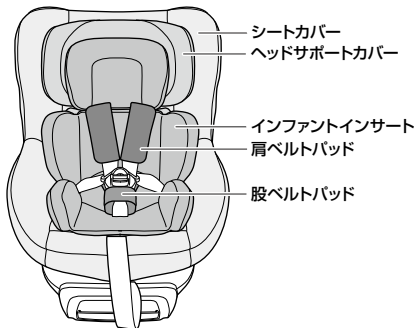
機構部の内部処理タイミングのズレにより、リクライニングの段階が表示されなかったり、誤った数字が表示される場合がありますが、故障ではありません。

お手入れのしかた

カバー類の取り外し、取り付け

本製品は、お手入れのために、以下の縫製品を取り外すことができます。

お手入れ後は、取り外した縫製品を必ず（インファントインサートは必要に応じて）取り付けなおしてください。



危険

本取扱説明書で別段の指示がない限り、部品を取り外して使用しないでください。カバー類、縫製品類は、安全に関わる重要な部品ですので決して取り外して使用しないでください。また、同様に本製品に使用されているウレタンなどの衝撃緩衝材、本製品に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。



注意

お子さまが本製品の内部機構に手や指を差し入れてケガをするおそれがありますので、お手入れのためにカバー類を取り外したら、取り付け直すまでの間は、本体をお子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

シートカバーを取り外すと、本製品の内部機構が見える状態になります。内部の機構に手を加えたり、触らないようにしてください。また、内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、シートカバーを取り外した本製品は、カバーを被せるなどして保護しておいてください。

股ベルトパッド

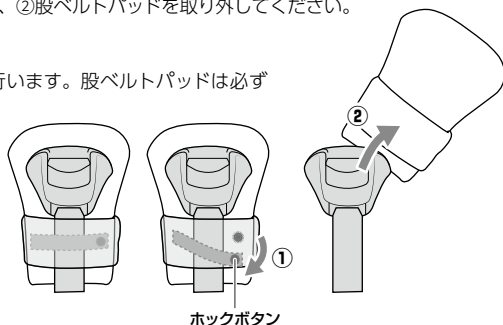
01

股ベルトパッドは、股ベルトパッド内側に縫い付けてある固定ベルトのホックボタンで留めてあります。

①ホックボタンを外して、②股ベルトパッドを取り外してください。

02

取り付けは逆の手順で行います。股ベルトパッドは必ず取り付けてください。



⚠ 警告 股ベルトパッドが取り付けられていないと、本製品が所定の安全性能を発揮できません。

インファントインサート

以下を参照してインファントインサートを取り外し、取り付けします。

参照 P38-40 >インファントインサート

肩ベルトパッド

01

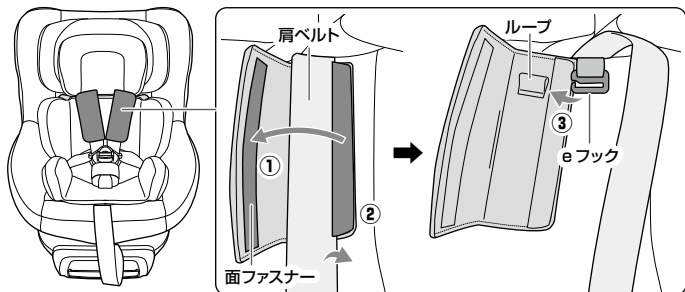
あらかじめバックルを外しておきます。

①肩ベルトパッドの面ファスナーを外して開きます。

②肩ベルトを外に抜いておいてください。

③e フックから、肩ベルトパッドのループを抜き、肩ベルトパッドを取り外します。

左右とも同じようにして肩ベルトパッドを取り外してください。



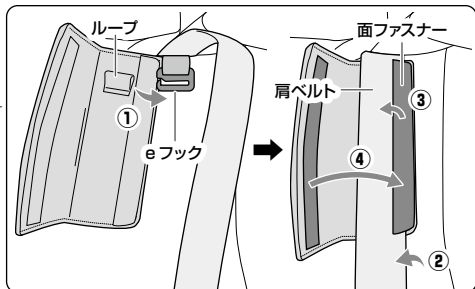
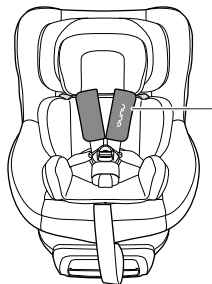
ポイント

肩ベルトパッドはハーネスには固定されていません。e フックに固定されています。肩ベルトは e フック上に重ねられています。

02

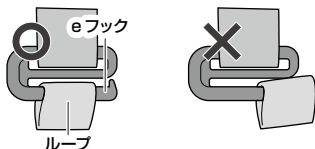
肩ベルトパッドを取り付ける際には、向きに注意してください。nuna のロゴがある側を向かって右にして、滑り止め加工されている側をお子さまの身体側にして取り付けます。図を参照して正しい向きで取り付けてください。

- ①最初に、ループをeフックに差し込んで取り付けます。しっかりと差し込んでください。
 - ②eフックに重ねるように肩ベルトを乗せて、
 - ③面ファスナーで肩ベルトを挟み、
 - ④肩ベルトパッドをたたんで、面ファスナーで固定します。
- 左右とも同じようにして肩ベルトパッドを取り付けてください。

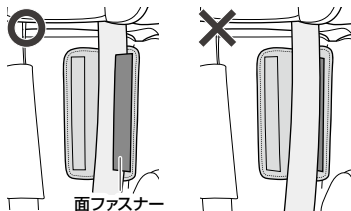


使用中に肩ベルトパッドが外れるおそれがあります。ループは、eフックに完全に通してください。

⚠注意



使用中に肩ベルトパッドが開くおそれがありますので、肩ベルトを面ファスナー（③の部分）に重ねないでください。肩ベルトは面ファスナーの下側になるようにしてから、面ファスナーを留めてください。



ヘッドサポートカバー

01

あらかじめ、キャノピーを取り外しておきます。

参照 P45-46 >キャノピー

02

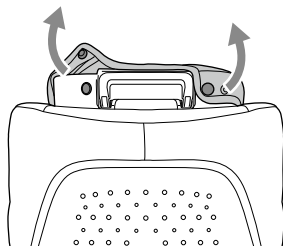
ヘッドサポートを最も高い位置に調節します。

参照 P37 >ハーネスの高さ調節

03

ヘッドサポート後部のヘッドサポートアジャストレバーの左右に留めてあるヘッドサポートカバーのホックボタンを外します。左右とも外してください。

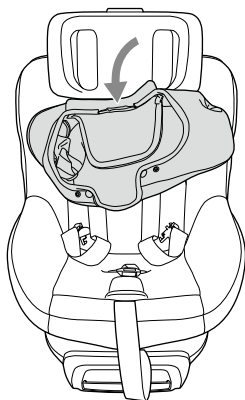
ポイント ヘッドサポートが低い位置に調節されていると、ホックボタンは取り外しできません。



⚠注意 ホックボタンは固めです。注意して取り外し、取り付けしてください。

04

左右のキャノピースロットの周囲に差し込まれている通し穴の生地を抜いて、ヘッドサポートカバーを前方にめくりまします。



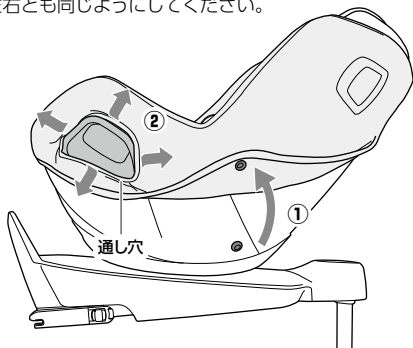
05

取り付けは逆の手順で行います。

シートカバー

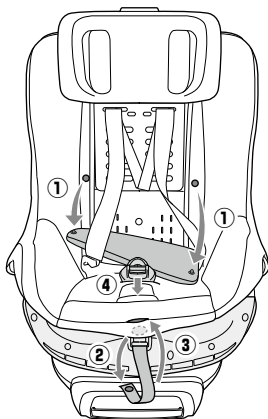
01

- ①シェルの側面左右でシートカバーを留めているホックボタンを外し、
- ②回転レバーの縁に沿って差し込まれているシートカバーの生地（通し穴）を抜き出しておきます。左右とも同じようにしてください。



02

- ①背もたれの中央あたりに留めてある左右のホックボタンを外します。
- ②シートカバー前端の裏側でアジャストベルトを留めている面ファスナーを外して、
- ③シートカバーの通し穴からアジャストベルトを抜きます。
- ④受けバックル（股ベルト）をシートカバーの通し穴から抜きます。

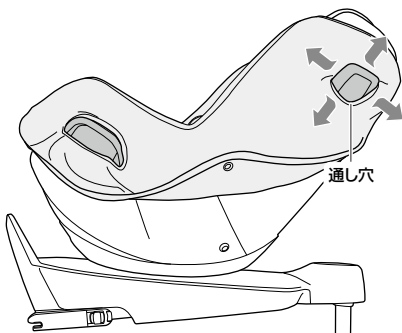


03

SIPP スロットに差し込まれているシートカバーの生地（通し穴）を抜き出します。

Qポイント

取り付け時には、SIPP スロット部(左右)、回転レバー部(左右)の順で差込口を取り付けてください。左右いずれか片側のSIPP スロット部と回転レバー部両方にシートカバーを先に差し込むと、反対側の作業が難しくなります。

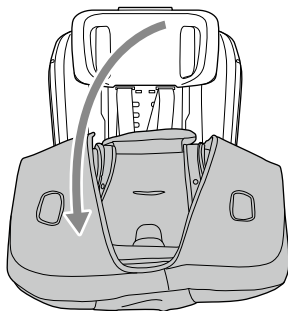


04

シートカバーを前方に取り外します。

05

ヘッドサポートカバー、シートカバーの取り付けは逆の手順で行ってください。



お手入れの方法

カバー類、パッド類

以下のカバー類、パッド類は、洗濯機で洗濯が可能です。

注意事項をお守りいただき、お手入れしてください。

- ・シートカバー※
- ・ヘッドサポートカバー※
- ・インファントインサート

洗濯できませんので、ボディサポートのクッションは取り外してください。

洗濯できませんので、ヘッドパッドのクッションプレートは取り外してください。

- ・肩ベルトパッド
- ・股ベルトパッド

※シートカバー、ヘッドサポートカバーの下部には樹脂製のプレートが取り付けられています。このプレートは外すことができませんので、洗濯時は折り曲げないように注意してください。

- 液温 30℃以下の水で弱水流にした洗濯機で洗濯が可能です。
- 洗濯時には取扱説明書を取扱説明書ホルダーから抜いてください。
- 洗濯機をご使用になる際は、重量の偏りに注意してください（特に脱水時）。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合には、しっかりとすすいで、洗剤を完全に落としてください。
- 軽く絞って、形を整えて日陰で吊り干ししてください。
- 取り付けは、よく乾かしてから行ってください。
- 留めることができる面ファスナー、ホックボタンは留めておいてください。

・塩素系、酸素系ともに漂白剤は使用できません。

・タンブル乾燥処理はできません。

・日陰でつり干し乾燥してください。

・アイロンは使用しないでください。

・商業クリーニング、ドライクリーニングはしないでください。

・ガソリン、シンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

・きつく絞らないでください。



注意

本体（シェル、ベース）・リモートコントローラー

⚠ 危険

水を直接かけないでください。サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。

油類などの潤滑剤は使用できません。潤滑剤を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

⚠ 注意

市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは、樹脂部分のお手入れに使用しないでください。含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

ガソリン、シンナーなどの有機溶剤、その他の溶剤を使用しないでください。樹脂部品に影響を与え、ウレタンなどの衝撃吸収材を溶解し、変質、変形させるおそれがあります。

ISOFIX コネクター

差込みタング／受けバックル

ベルト／ハーネス類

衝撃吸収材

リモートコントローラー

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふきとってください。洗剤類などは使用しないでください。

樹脂部分・その他の金属部分

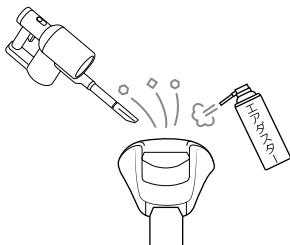
お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふきとってください。汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

内部の機構部

内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

受けバックルの内部

受けバックルの内部は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



保管のしかた

長期間使用しない場合、本製品は自動車の座席から取り外した上で正しく保管してください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時は本製品のバックルを留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる場所、露天では保管しないでください。

本製品の上に物を乗せて保管しないでください。

保管時、専用 USB-C ケーブルはベースから抜いておいてください。

長期間使用しない場合は、本体、リモートコントローラから電池を抜いておいてください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品・使用不可」と明示し、シートカバーを破るなどして、再利用ができない状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	nuna relx wind リラックスウィンド		
お買い上げ日			
お客様	ご住所 〒 -	お買い上げ 販売店名	店名 住所 電話番号
	お名前 電話番号 - -		

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

- 保証期間中に正常な使用状態において、万が一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場をを除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
- 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
 - ・本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
 - ・お客様ご自身が、本製品を新品でご購入されたことを証明できない場合

- ・本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合
- ・正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類、ベルト類等縫製製品のほつれの場合
- ・部品の紛失の場合

3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。

- ・事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
 - ・本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - ・業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・中古品の場合
 - ・本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(販売元)

株式会社カトージ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シール等を貼り付けてください



Find out more at **nunababy.com**